

教育委員会に関する事務の管理 及び執行状況の点検及び評価報告書

(令和元年度実績)

—目 次—

I	はじめに	1
II	教育委員会の点検及び評価の実施方針	3
III	教育委員会会議等の点検及び評価	5
IV	基本施策及び事業の点検及び評価	8
V	学識経験者の意見（総評）	39

令和2年9月

土岐市教育委員会

I はじめに

(1) 点検及び評価について

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、土岐市教育委員会では、事前に教育委員会が立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックすることなど、その活動を充実するように努めてきました。

こうした中、平成19年6月に公布された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成19年法律第97号）において、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務づけられました。

また、この点検及び評価に関することは、教育に関する事務の管理及び執行の基本方針に関することと同様に、教育長に委任することができないこととされました。

根拠法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
第26条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

このことを受けて、土岐市教育委員会では、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を「教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書」としてとりまとめ、住民の代表である議会に提出し、公表することにより、市民への説明責任を果たそうとするものであります。

(2) 点検及び評価の基本的事項

- 教育委員会は、毎年、教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検及び評価を行うこととし、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことが法律で規定されました。

土岐市教育委員会では、令和2年度に令和元年度の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめ市議会に提出し、教育委員会ホームページで公表を行います。

- どのような方法で点検及び評価を行うか、また報告書の様式、議会への提出方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて決定することになります。

土岐市教育委員会では、平成22年度までは、第五次土岐市総合計画をベースに点検及び評価を行ってきましたが、平成23年度（平成22年度実績）からは、平成22年に策定した土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」をベースに点検及び評価を行うことにしました。平成27年度からは「夢・絆プラン」の後期計画を基に点検及び評価を行います。

- 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、点検及び評価の客観性を確保するためのものです。活用の仕方については、評価の方法や結果について、教育に関し学識経験を有する者の意見を頂く機会を設けることなどが考えられます。このことについては、各教育委員会の創意工夫により対応することになります。

土岐市教育委員会では、土岐市教育委員会の点検及び評価に関する有識者設置要綱（平成21年土岐市教育委員会告示第1号）に基づき、教育に関し学識経験を有する者の中から有識者（2人以内）を委嘱し、意見を頂くことにしています。

Ⅱ 教育委員会の点検及び評価の実施方針

1 趣 旨

- ・土岐市教育委員会は毎年、主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
- ・点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進する。

2 実施方法

- (1) 土岐市教育振興基本計画「夢・絆プラン」(後期計画)をベースに、「第2章 基本計画 ～後期5年間に総合的かつ計画的に取り組むべき施策～」を対象とした点検及び評価を行う。

土岐市教育委員会の基本計画

節	内 容
1-1	確かな学力の育成
1-2	豊かで健やかな児童生徒の育成
1-3	教育環境の整備・充実
1-4	教職員の資質・指導力の向上
2-1	子育て支援体制の充実
2-2	地域づくり型生涯学習の充実
2-3	文化芸術活動の推進
2-4	スポーツの推進

評価の目安

評価指標	評 価 内 容
A	達成している
B	概ね達成している
C	あまり達成しているとはいえない
D	達成していない

令和元年度の実績

施策実現のために実施した事業などの実績等を示す。

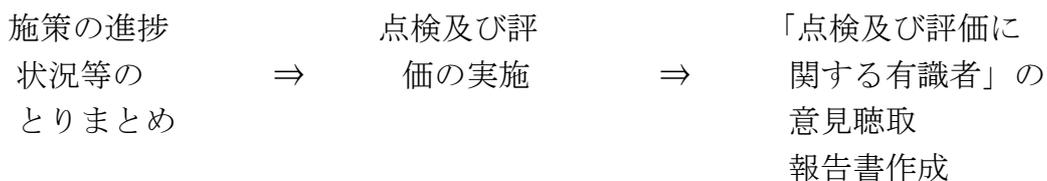
課題と今後の取組み

令和元年度の実績等から見えてきた施策実現に向けた課題と、それを解決するための今後の取組みを示す。

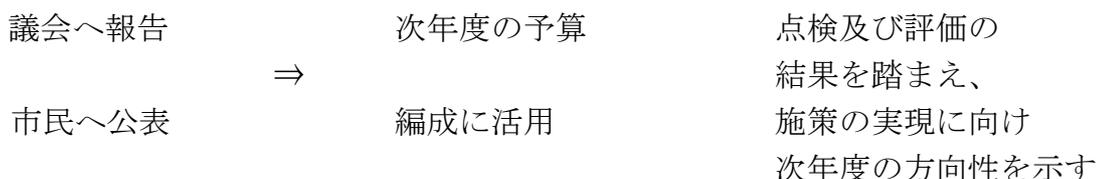
- (2) 点検及び評価は、前年度の施策・事業の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組みの方向性を示すものとし、毎年1回実施する。
- (3) 施策・事業の進捗状況等を取りまとめ、学識経験者の意見を頂き、教育委員会において点検及び評価を行う。
- (4) 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「土岐市教育委員会の点検及び評価に関する有識者（以下「有識者」という。）」を置く。
 - ①有識者は、教育に関し学識経験を有する者の中から、教育委員会が委嘱する。
 - ②有識者の任期は2年とする。
- (5) 教育委員会において、点検及び評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を土岐市議会へ提出する。また報告書は公表するものとする。

3 点検及び評価の流れ

4月	7月	8月
----	----	----



9月	10月	2月
----	-----	----



Ⅲ 教育委員会会議等の点検及び評価（令和元年度）

区 分	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会 会議の実施 状況	開催回数：定例会議 12回 臨時会議 2回 審議件数：議 案 21件 （内 専決報告 8件） 可決した議案 21件 報 告 4件 その他教育長報告 12回	<成果> 定例会においては、教育委員会の歳入歳出予算、条例・規則等の例規、人事案件等の議事案件（別紙）について慎重審議し、円滑で適正な教育行政の運営ができた。 <課題> 月1回の定例会は、議案については十分な審議が実施できるが、緊急を要する案件に対しては情報共有に時間差を生じさせる可能性がある。
活動の状況 等について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問（教育長訪問に同行、随時訪問） ・教育関係のイベント、式典に参加 ・市内教育施設の現場視察 ・市町村教育委員会連合会研究総会に参加 ・東濃西部教育委員研修協議会に参加 ・先進地視察研修 令和元年12月12～13日 姫路市教育委員会 目的：姫路市が市として進めている先進的な小中一貫教育についての研修を通して来年度より併設型小中一貫校を設置し、中学校区ごとに9カ年を見通した小中連携教育を推進しようとする本市の教育の参考にする。 ・土岐市教育振興基本計画推進・点検委員会開催 	<成果> 先進的な取り組みをしている学校や教育施設などの教育現場に赴き、担当者の生の話や実態を直接見聞きすることにより、より具体的な実態把握や意見交換、意思疎通が図られ、今後更に推進していくことと改善を要することが明確になった。 また、他市での研修や先進市の視察を行い、本市の実態を踏まえ、今後の教育行政の方策の立案に生かすことができた。 <課題> 今後も継続的に教育現場や先進地の視察、研修参加等を行い、本市の教育行政の課題や改善点をより明確にする必要がある。

令和元年度土岐市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案
第4回定例会	4月16日	議第10号 議第11号 議第12号 専第2号 報第2号	平成31年度教科用図書東濃採択地区協議会の設置について 平成31年度教科用図書東濃採択地区協議会委員の選出について 専決処分の報告及び承認について 市職員の人事異動について 土岐市嘱託員、学校評議員等の委嘱等について
第5回定例会	5月17日		
第6回定例会	6月26日	議第13号 専第3号	専決処分の報告及び承認について 令和元年度土岐市一般会計補正予算のうち教育費に係る予算について
第7回定例会	7月23日	議第14号	令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択について
第8回定例会	8月29日	報第4号	土岐市嘱託員の委嘱について
第9回定例会	9月13日	議第15号	教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
第10回定例会	10月15日	議第16号 専第4号 議第17号 専第5号	専決処分の報告及び承認について 土岐市立幼稚園園則の一部を改正する規則について 専決処分の報告及び承認について 土岐市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する告示について
第11回定例会	11月25日	議第18号 専第6号 議第19号 専第7号	専決処分の報告及び承認について 令和元年度土岐市一般会計補正予算のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 市職員の人事異動について
第12回定例会	12月25日		

第1回定例会	1月17日	議第1号 議第2号 議第3号 議第4号 報第1号	令和元年度二宮文化賞の授与について 土岐市社会教育指導委員設置規則の一部を改正する規則について 土岐市教育委員会事務専決代決規程の一部を改正する訓令について 土岐市図書館運営規則の一部を改正する規則について 令和元年度土岐市教育文化賞の授与について
第2回定例会	2月20日	議第5号 議第6号 議第7号 専第1号 議第8号 専第2号	第2次土岐市教育振興基本計画について 土岐市学校教育の方針と重点について 専決処分の報告及び承認について 令和2年度土岐市一般会計予算のうち教育費に係る予算について 専決処分の報告及び承認について 令和元年度土岐市一般会計補正予算のうち教育費に係る予算について
第1回臨時会	2月28日	報第2号	新型コロナウイルスに関することについて
第2回臨時会	3月6日	議第9号	県費負担教職員の人事異動内申について
第3回定例会	3月16日	議第10号 議第11号	土岐市立小中学校管理規則の一部を改正する規則について 土岐市学校運営協議会設置要綱について

大項目	1. 「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進
中項目	①確かな学力の育成
小項目	○知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成及び学ぶ意欲の向上

基本施策	◆「土岐市幼稚園、小・中学校教育の方針と重点」の具現	評価	B
項目	<p>☆学校訪問(「教育長訪問」、「研修訪問」)を実施し、各学校や各園の研究や実践に対して指導助言を行い、研究や実践の質を高めます。</p> <p>☆保幼小の交流による相互理解と連携を通して、義務教育へのスムーズな導入と発達段階に応じたきめ細かな指導を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園2園、小学校3校、中学校3校を研究指定校(園)とし、研究の成果を広めます。 ・幼稚園、小・中学校における具現状況を年度ごとに評価し、取組みについて見直します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園、各小・中学校への「教育長訪問」「研究所訪問」を通して、各園、各校の取組状況を把握し、指導助言を行うことができた。教育長訪問は、今年度より2つのこども園を加え、市内全ての幼稚園、小・中学校で実施した。 ・土岐津小学校(外国語)、駄知中学校(道徳)、泉中学校(授業改善)を指定校として、それぞれの研究の成果を児童生徒の姿を通して発表し、市内の先生方に広めることができた。いずれの発表会においても、児童生徒の主体的な姿が具現されており、方針と重点の具現状況を確認することができた。 ・幼稚園教育要領の趣旨がよく理解され、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」が幼稚園と小学校の双方において意識されるようになってきた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究や実践に対しての指導助言を焦点化し、市全体で統一的な取組を推進するなかで、教育の質の高まりを求める必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土岐市の教育の方針と重点」の教育方針や実践課題を設定するにあたり、教育振興基本計画をもとに具現状況を具体的に評価できる項目設定を行う。 ・学校がコミュニティスクール化するのに伴い、小中が連携した9か年教育を推進するために、「中学校区研究指定」により、小中学校が連携して地域の課題を解決していく体制をさらに強固なものにしていく。 ・小学校においても幼稚園・保育園が大切にしていることを十分理解することで、保育園・幼稚園・こども園と小学校とのより一層の連携を図り、小学校におけるスタートカリキュラムのスムーズな進行を図る。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆基礎・基本の確実な定着	評価	B
項目	<p>☆「授業トリプルクオリティ(「意欲・規律」「深い思考」「学び方」)」に取組み、授業改善の重点化を図り授業の質を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業や家庭学習において、補充や発展的な学習を充実します。 ・「きめ細かな学校支援事業」により、支援を要する児童生徒への支援を充実します。 ・「外国語指導助手(ALT)派遣事業」「小学校外国語講師派遣事業」により外国語に親しませ、コミュニケーション能力を高めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進委員会が中心となり、「家庭学習の手引き(中学校版)」「土岐市の授業スタンダード(仮称)」を作成した。しかし、その活用に関しては各学校に任せられており、活用状況に差がある状況である。 ・各学校で、全国学力学習状況調査やNRTの検査データ分析や質問紙分析から課題を明らかにして、授業改善が進められており、授業において補充・発展的な学習を充実させている。 ・各学校の状況やニーズに応じて学校支援員を適切に配置し、個々の児童生徒の学習や生活の支援を行い、子どもたちの精神的安定につながってきている。 ・「ALT派遣事業」について、学校の要望に応じて派遣することができ、英語を母語とするALTの発音に親しみながら、小学校からの英語学習への取組みや異文化理解が進んでおり、コミュニケーション能力も徐々に高まりつつある。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補充・発展学習については、学校の実情に任せられている状況であり、休み時間や放課後を利用して定期的実施している学校もあれば、不定期で行っている学校もある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校が基礎学力を確実に向上していくために、朝の時間や昼休み、放課後等の時間を有効的に活用した取組を全市をあげて実施していくことが必要である。 ・「ALT派遣事業」として、学校の要望に応じてALTを派遣することを継続する。幼稚園、こども園等への訪問も希望に応じて拡張、充実させていく。 ・小学校外国語講師派遣事業については、ALTの増員に伴い今年度より廃止とした。 		
担当課	教育研究所		

大項目	1.「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進
中項目	①確かな学力の育成
小項目	○特別支援教育における教職員の専門性の向上

基本施策	◆特別支援教育の充実	評価	B
項目	<p>☆巡回相談、教育相談会を通して、就学前から一貫した特別支援教育を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のニーズに応じた教育ができるよう支援員を配置します。 ・幼稚園、小・中学校において、障がいのある幼児児童生徒に対する個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成をしていきます。 ・特別支援学校、通級教室、福祉事務所との連携を図り、一人一人の児童生徒のニーズに応じた教育を進めます。 ・幼稚園、小・中学校内での職員研修の充実を図っていきます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・5月の特別支援教育連携協議会での打合をもとに、保育園、幼稚園が6月に相談の必要な児童について報告し、それをもとに6月20日から7月3日までの間で、各保育園・幼稚園の巡回相談を実施した。その際、簡易な検査と行動観察を実施、困り感を持つ児童の保護者に対して、教育相談の案内を行った。対象児童は80名であった。 ・特別支援教育への理解が深まり、今後の就学に向けて見通しがもてるように、5歳児の保護者で希望される方を対象に特別支援教育見学会を土岐津小学校で実施した。保護者の参加者は1回目20名、2回目は12名であった。 ・一人一人のニーズに応じた教育を進めるために、学校の実態に合わせて、「きめ細かな学校支援事業」として学校支援員を39名配置した。 ・特別支援コーディネーター研修会で個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成の留意点を確認した上で、各学校で作成をした。 ・7月31日に、専門家として、特別支援学校職員、子育て支援課相談員、療育センター長、発達支援センター専門指導員の方も参加し、教育相談を実施した。保護者に対して就学の助言だけでなく、子どもに対する対応等についても支援した。14名の保護者が参加した。 ・5月と2月に特別支援コーディネーター研修会を実施し、職員の資質向上につなげることができた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する子どもたちの背景には、家庭環境の多様化・複雑化や保護者との共通理解の難しさがある。その点も加味し、福祉等の関係機関とのさらなる連携を図る。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のニーズに応じた教育の実現に向け、幼児期から就業までを見据えて、学校と保護者、関係機関が連携を密にするよう、さらに努める。 ・通常学級に在籍している支援を要する児童生徒の個別の教育支援計画の作成を進め、小中学校の9カ年を継続して支援できる体制を整える。 ・就学前からの一貫した特別支援教育の取組とともに、相談窓口を周知するため、5歳児の保護者に対して資料を配付する。相談窓口の一本化については、関係機関で検討を重ねる。 		
担当課	教育総務課		

大項目	1.「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進
中項目	②豊かで健やかな児童生徒の育成
小項目	○心の教育の充実と望ましい人間関係を築く力の向上

基本施策	◆道徳教育の充実	評価	B
項目	・「地域ぐるみの道徳教育推進事業」により中学校区単位の取組を行うとともに、道徳の授業を充実します。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区単位で行う道徳計画訪問を節目として、道徳の年間指導計画、他教科との関連、道徳の時間の指導について見届け、指導・助言をすることができた。 ・駄知中学校の取組みを生かして、望ましい人間関係を築く力が向上できるように、各学校における道徳の時間の充実を図ることができた。 ・「1家庭1ボランティア」の活動を広めるとともに、地域でのボランティア活動などの具体的な体験を通して豊かな心を育むことができた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等への小中学生のボランティア参加や学校行事への地域住民の参加は行われているが、その活動と道徳教育推進との関連性が薄い。 ・日常活動における実態と教材との関わりを担任としての目線から明らかにして、自分事として考えさせる展開や発問の工夫をしていく必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駄知中学校が指定を受けている「岐阜県道徳教育振興会議」実践協力校への取組を市内の小中学校へも広げ、コミュニティスクールの取組の中でボランティアや地域活動を道徳教育と関連させて実践し、その体験の集約を駄知中学校が発表していきたい。 ・駄知中学校の実践をもとにしながら、日常生活や地域生活と教材との関連を具体的に担任の先生がイメージした自己理解や価値理解を深めるような発問の工夫を、実践記録にまとめて道徳教育主任研修会等で交流して市内に広げていく。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆人権教育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園、小・中学校における「ひびきあいの日」の取組を充実します。 ・人権教育にかかわる研修を充実します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育主任研修会を5月に実施した。土岐市における人権教育の方針や目標を確認すると共に、同和問題に対する研修や「ひびきあい活動」の取組について小中の連携を強めて指導にあたることのできるように、校区で交流する時間を設けた。 ・各学校で精力的な取組が見られ、「人権文化あふれる学校賞」を泉小学校が受賞、「ひびきあい賞」を駄知幼稚園 土岐津小学校、下石小学校、泉小学校、濃南中学校、駄知中学校が受賞した。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひびきあい活動」が各学校独自の活動としては実践されているが、小中学校が連携して取り組む活動が少ない。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前までの「ひびきあいの日」のような活動を小中学校が合同で行い、校区として地域ぐるみの人権教育活動が実施できるように、コミュニティスクール化をきっかけに中学校区ごとに「挨拶運動」などの常時活動を決め出して取り組むよう、小中学校に働きかけていく。 ・各幼稚園、小・中学校において、人権教育における「行動力」の育成を意識した「ひびきあい活動」が充実されるように働きかけていく。また、「ひびきあい賞」を受賞した学校の功績や具体的な取組を人権教育主任研修会や教頭会、教務主任会で発表する機会を設定し、市内各校に広める。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆キャリア教育の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労観や職業観を育む日常活動や体験活動を充実します。 ・「中学校キャリア教育推進事業」を引き続き実施します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全小中学校で、清掃活動や委員会活動、奉仕作業といった勤労観や職業観を育むような日常活動や体験活動を取り入れてきた。 ・全中学校において、地元の人からの職業講話や生き方教室を行うことができた。また、自らの生き方を見つめ直し、職業に対する見方・考え方を広げる職場体験学習も学校の実情に応じて実施することができた。 ・中学校を中心にボランティア登録制度が進み、積極的に地域で活動することができた。 ・全小学校において「夢の教室」を行い、将来の夢について考えることができた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校におけるキャリア教育の充実が望まれる。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校において、社会的・職業的自己実現を図ることができるように、創意工夫ある職場体験学習を実施する。 ・コミュニティ・スクール化を契機として、小中学校9カ年を見据えたキャリア教育の推進にも一層努めていく。 ・地域の生き方指導をしていただける講師の方を発掘する。 		
担当課	教育総務課		

基本施策	◆いじめ等の問題行動や不登校等に対する対応と教育相談体制の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の問題行動や不登校の未然防止と複雑化・多様化する問題行動への組織的な対応をします。 ・スクールカウンセラー、スクール相談員を配置し教育相談体制の充実を図ります。 ・「教育相談適応指導教室(浅野教室)」の運営、指導の充実を図ります。 ・いじめや暴力行為等を未然に防止するため、道徳教育・人権教育・体験活動等の推進をします。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校において、いじめ等の問題のあった事案については、各学校で生徒指導主事を中心に対策委員会を開催し、市教育委員会とも連携しながら迅速に対応することによって、解決もしくは一定の方向性を見出している。 ・不登校については、学校と児童生徒本人や保護者とのつながりを大切に、心配な児童生徒に対して迅速に対応するなど、特に未然防止、早期支援に取り組んでいる。 ・「教育相談適応指導教室(浅野教室)」を中心として、SSN(スクーリング・サポート・ネットワーク事業)等の成果を生かしたり、市や各校のスクールカウンセラーと連携を図ったりしながら、教育相談体制の充実を図ることができた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年、不登校児童生徒数は増加している。その原因は、社会の変化に伴って複雑化・多様化しており、特に小学校においてその傾向が顕著である。 ・「教育相談適応指導教室(浅野教室)」への通所申請者は増えており、運営や研修会の方法をさらに工夫・改善する必要がある。 ・いじめの認知件数は増加しており、全教育活動を通じた取組が必要である。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校については、子どもと関わる関係諸機関が連携して特に未然防止に取り組み、魅力ある学校づくりと自己存在感や自己有用感が味わえる居場所づくりを進めたりすることに努める。 ・子どもたち一人一人の状況を丁寧に把握し、スクールカウンセラーや教育相談員の配置、土岐市教育相談適応指導教室の活用等、教育相談体制や支援の充実を図る。 ・土岐市教育委員会と「教育相談適応指導教室(浅野教室)」が不登校の未然防止、早期支援・対応、効果的支援について研修するための「SSN教育相談研修会」を開催し、教育相談コーディネーターなど各学校の不登校対策の中心となる職員の資質と指導力の向上を図る。 		
担当課	教育総務課		

基本施策	◆表彰、顕彰活動の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育文化賞」により優れた成績を収めた児童生徒を表彰し励まします。 ・「ほほえみレター」により善行を顕彰します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・科学作品展や美術展などの表彰式や各種の文化スポーツの大会入賞報告会などを実施し、児童生徒を認め、励ましたことにより、昨年度に引き続き連続して表彰を受ける児童生徒が増えてきた。 ・表彰し、励ますだけではなく、夏休み前にやる気や見通しを持たせるための講座を開設し、優れた能力をより発揮できる支援をした。 ・今年度も2月に教育文化賞表彰式を実施した。優れた成績を収めた児童生徒や団体などの受賞者は昨年度を大きく上回り、特に文化賞では全国上位へ入賞するなど質の向上も見られた。 ・地域の方々によるボランティア活動や総合的な学習における講師などの慈善行為に対して「感謝状」による顕彰を引き続き行っている。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が表彰を通して、達成感や自信をもつことができるように、より多くの児童生徒に作品づくりに取り組んでもらうための工夫が必要である。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は、新たな取り組みとして、オリンピック年度にちなんだ「新聞切り抜きコンクール」を行い、同時に表彰も行う。 ・開設講座の中で、東濃地区や県で上位入賞を果たした作品を実際に見て学ぶ機会を増やしたり、指導者がスキルを高めるための研修を紹介して、作品展や研修に参加する機会を設けていく。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆体験活動・読書活動等の推進	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆「小・中学校特色ある活動づくり」事業により、地域(ふるさと)から学び、地域との絆を深める特色ある教育活動を推進します。 ・「はつらつ人材派遣事業」により、地域講師の活用を推進します。 ・「読書感想文コンクール」を実施するとともに、読書に親しむ活動を充実します。 ・2校に1名の割合で学校司書の配置を進めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「はつらつ人材バンク」の運用により、各学校で伝統的に行われている教育活動に対して、地域人材の積極的な活用がすすみ、活動の質の向上が図られている。 ・小学校では社会等の教科の学習を通して地域との関わりを大切にする実践、中学校ではボランティア活動などを通して地域の活動へ参加する実践が継続的に進められている。 ・入賞した児童生徒に市から表彰する場を設け、審査委員長により優れた作品を紹介すると共に、読書活動への意欲付けをすることができた。しかし、児童生徒一人一人の読書量の向上へはなかなか結びついていない現状がある。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校共に読書量が少なく、学校図書館における読書活動を推進していく必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を中心として読書推進活動を充実させ、一人一人の読書量を増やすとともに、授業の中で並行読書を位置づけたり、読書イベントを開催したりして豊かな心づくりをおこなっていく。 ・コミュニティスクール化に伴い、さらに地域の方々から参画したふるさと教育や地域を素材とした体験活動を充実させたい。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆環境教育の推進	評価	B
項目	・副教材や教師用手引書(岐阜県版)を活用して指導を行います。		
令和元年度の実績	・平成31年4月1日発行の小学校社会科副教材「わたしたちの土岐市」を社会の時間に活用し、自分たちの住んでいる土岐市とその環境について、より新しい情報を基に学ぶことができている。		
課題(今後の方向)	【課題】 ・社会の授業などを通して学んだことを生かしながら、地域(ふるさと)学習をより充実させるよう、実際に体験したり作品にまとめたりして、行動レベルにしてアウトプットしていきような活動を行う必要がある。 【今後の方向】 ・総合的な学習の中に環境に関わるテーマを設定して、実際に自分の足で見て観察したり、地域の人々から話を聞いたりする体験的な活動を重視するように各学校に学校訪問や教務主任会等で働きかけていく。		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆土曜授業の推進	評価	B
項目	・各学校の現状に応じた土曜日ならではの授業を行います。		
令和元年度の実績	・土曜授業本格実施2年目として、各小中学校において、年間2回程の実施をした。 ・土曜授業の趣旨に沿って実施されている。 ・地域の人材を生かした授業や芸術鑑賞・コンサート、講演会など、土曜ならではの活動を行っている。		
課題(今後の方向)	【課題】 ・子どもたちの土曜日を豊かで地域や社会との関わりの深い有意義なものにする。 【今後の方向】 ・コミュニティ・スクール化を契機として、土曜日の地域における学習やスポーツ、体験活動など様々な活動を一層促進するための方策など土曜授業の質を高めるよう努める。		
担当課	教育総務課		

大項目	1.「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進
中項目	②豊かで健やかな児童生徒の育成
小項目	○児童生徒の実態に即した健康・体力づくりの推進

基本施策	◆学校における健康体力づくりの充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・体力状況調査結果を生かして指導方法を改善し、体力の向上を図ります。 ・保健指導を充実し、心身ともに健康な体をつくります。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力・運動能力、運動習慣など調査は全小学校5年生と全中学校2年生で実態調査を行った。県の体力・運動能力調査は抽出校を2校(土岐津小・濃南中)決め、体力状況調査を実施し、実態把握を行ったが、依然体力の向上には課題が残る。 ・岐阜県学校歯科保健優良校「大規模校(県一位)」土岐津小学校、「中規模校(優良校)」妻木小学校、「歯科保健推進校」肥田小学校が受賞した。 ・市をあげて以前から継続して、歯科保健指導に力を入れてきた。フッ化物洗口などにも、多くの小学校が取り組んできた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土岐市の子どもたちの実態を十分に踏まえ、運動能力の向上や運動習慣作りの取組みを意図的に行っていく必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果を上げている学校の取組みを引き続き市内に広めると共に、よりよい生活習慣の定着が図られる保健指導に向けた指導・助言を行い、心身ともに健康な体づくりを促進する。 ・各学校における体力づくりや運動習慣作りを意図的・計画的に進めていくよう、養教部会や保健主事会、市教研小中保体部会等で啓発していく。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆ジュニアスポーツ指導者の資質の向上	評価	—
項目	☆ジュニアスポーツ指導者研修会を実施し、クラブ活動の安全・健全化に努めます。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・FC岐阜から講師を招き、サッカーの指導者、保護者、選手を集め実践を交えながら指導方法を学ぶ。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 		
課題(今後の方向)	<p><課題></p> <p>開催する種目と参加者の増加</p> <p><今後の方向></p> <p>中学生のクラブ活動指導者を含めた、幅広い種目の研修の実施する。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆スポーツに触れ合う機会の提供	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室やイベントを開催し、スポーツを始めるきっかけを提供します。 ・スポーツ少年団の活動を推進します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市スポ少行事として、春季大会・焼津交流・秋季大会・運動適正テストを行った。 ・東濃スポ少行事として、夏の交流会・駅伝交流会を行った。 ・スポーツに興味を持つきっかけづくりとして、親子バランスボール教室、親子スポンジテニス教室及び大会を開催した。 		
課題(今後の方向)	<p><課題> スポーツ少年団の団員と加入団体の増加</p> <p><今後の方向> 引き続き、市スポーツ少年団行事を実施し、東農地区の春の交流会、駅伝競走大会・スケート交流会・スポ少認定指導者研修会に参加するとともに、子ども達のスポーツを始めるきっかけとなる教室や体験会を開催する。</p>		
担当課	教育総務課、文化スポーツ課		

基本施策	◆食の重要性を理解し、豊かな心と健全な食生活を営む力の育成	ページ	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆栄養教諭等による給食時間の訪問指導を充実します。 ・各校の給食委員会による食育活動を推進します。 ・校内の食に関する放送資料を充実します。 ・保護者への啓発を積極的に行います。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭2名による市内全部の幼稚園、小学校、中学校への訪問指導を実施しました。訪問延べ日数幼稚園6日、小学校47日、中学校24日、合計77日 ・小学校3年生を対象としたふれあい給食を実施しました。(7校17クラス) ・親子給食体験を夏休みに実施しました。(参加者41名) ・家庭の食育マイスターが作成した献立を実際の給食で採用します。(8校) ・絵本給食の実施(5月より1回/月) <p>「絵本給食」とは、絵本や教科書に出てくる食べ物を、給食のメニューとして提供し、本の物語とともに紹介する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校卒業記念品贈呈事業 <p>中学校3年生に、卒業記念品として美濃焼茶碗を贈り、地域とのつながりを感じてもらいました。</p>		
課題(今後の方向)	<p>繰り返し行うことで、知識技能、実践力が育成されていくものと考え、今後も各事業を継続していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭から学級担任へ資料提供する等の工夫をすることにより指導内容が定着するよう、全クラスを訪問する。 ・「GIFU食のマイスタープロジェクト」を活用することにより、栄養教諭を中核とした食育を行っていく。 ・栄養教諭と担任及び教科担任が連携し、食に関する指導を実施していく。 ・中学校卒業記念品贈呈事業は、3月の学校臨時休業による給食休止により、美濃焼茶碗での給食の喫食ができなかったが、引き続き、継続をしていく。 		
担当課	給食センター		

基本施策	◆安全で確実なアレルギー対応食の提供	ページ	A						
項目	☆安全なアレルギー対応食の提供に努めます。								
令和元年度の実績	<table> <tr> <td>実施日数</td> <td>給食実施日181日中、アレルギー対応食124日</td> </tr> <tr> <td>実施品目</td> <td>卵61品、乳41品、落花生4品、ごま67品</td> </tr> <tr> <td>対象人数</td> <td>46名</td> </tr> </table>			実施日数	給食実施日181日中、アレルギー対応食124日	実施品目	卵61品、乳41品、落花生4品、ごま67品	対象人数	46名
実施日数	給食実施日181日中、アレルギー対応食124日								
実施品目	卵61品、乳41品、落花生4品、ごま67品								
対象人数	46名								
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> ・誤食等の事故が無いよう、引き続き安全性確保を最優先にしたアレルギー対応食を提供していく。 ・特定原材料7品目を含まない、ユニバーサルカレーライスを学期に1回実施する。 ・教職員による、アレルギー対応を確実に実施する。 								
担当課	給食センター								

大項目	1.「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進
中項目	③教育環境の整備・充実
小項目	○安全・安心な学校づくりと危機管理体制の充実

基本施策	◆すべての幼稚園での3・4歳児の受け入れ	評価	A
項目	・市内すべての公立幼稚園での3・4歳児の受け入れを進めます。		
令和元年度	市内すべての公立幼稚園で3～5歳児を受け入れ、円滑な園運営を実施しました。		
課題(今後の方向)	保護者のニーズに応え、質の高い幼児教育と円滑な園運営を推進します。		
担当課	子育て支援課		

基本施策	◆幼保一体型施設(認定こども園)の適正配置	評価	A
項目	・耐震性の低い施設・公立幼稚園のない地区を優先して認定こども園の整備を進めます。		
令和元年度	・耐震性の低い市立いずみ保育園を幼保連携型認定こども園として整備する方針の決定しました。 ・設計業務委託業者の選定しました。		
課題(今後の方向)	・(仮称)泉こども園開園に向け、詳細設計・工事発注等を進めます。		
担当課	子育て支援課		

基本施策	◆学校内外の安全確保	評価	B
項目	<p>☆学校や通学路等において、子どもたちが安全に過ごせるよう、学校・地域・警察・「子ども110番の家」などの防犯ボランティアと一体となった体制づくりを講じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心広報活動を実施し、子ども達の下校見守りの呼び掛けと、地域の方への感謝の気持ちを伝えます。 ・防災教育の一層の充実を図り、自分の命は自分で守る意識を持ち、主体的に行動することができる子どもを育てます。 ・小・中学校を有害情報から守るための取組を推進します。 ・学校から保護者への緊急連絡システムの見直しを行います。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所について、県・市・警察署・学校の合同点検を実施し、対応策がより明確になった。 ・教育委員会のソフト面と建設部のハード面を融合させた取組ができている。 ・各校から上がってきた危険箇所・改善状況について、市のホームページに掲載し公表することができた。 		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県、市に頼った改善ばかりではなく、学校・PTA・地域が協力してできることを、各校の活動を交流しながら考えていく。 ・登下校防犯プランに基づき、登下校時における子どもの安全確保に努める。 		
担当課	教育総務課		

基本施策	◆教育施設の耐震化、老朽化対策等の安全・安心な施設環境の構築	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆小・中学校施設の耐震化率100%を達成します。 ・学校施設のトイレ洋式化を推進します。 ・老朽化した小・中学校プールの改修を進めます。 ・老朽化した学校施設の改修を計画的に行い、教育環境の維持に努めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・西陵中学校トイレ洋式化工事が完了し、トイレの衛生環境が向上し利用者にも好評を得ることができた。 ・小中学校普通教室に対するエアコン設置の完了により子供たちの学習環境が向上した。 		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育施設の修繕等には、学校施設長寿命化計画を基に計画する。 		
担当課	教育総務課		

基本施策	◆学校環境の整備	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の図書蔵書の充実と図書管理システムの導入について検討します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、蔵書の点検・整備を行い、児童生徒が積極的に図書館を利用できる環境づくりを進めている。 ・蔵書の分類に偏りがでないように、新規購入の際はバランスをとることを心がけている。また、児童生徒からも意見を聴取して、より興味関心がもてる書架に務めている。 ・図書管理システムについては、一部学校に導入が図られているが、予算措置も含め、継続して検討している。 (・泉小学校が、東濃地区教育推進協議会より図書館審査において 賞を受賞している)。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生、中学生、共に読書時間が全国や県に比べて少ない傾向にある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用が促進され、読書指導の充実が図られる環境整備を継続的に進める。 ・図書管理システムについて、その利便性などの状況を鑑みながら、導入の在り方について検討する。 		
担当課	教育総務課		

基本施策	◆学校の情報化の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に即した情報教育設備の整備を進めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校に10台のタブレットパソコン配備により、動画、写真、調べもの等学習の幅ができ、授業での楽しさが生まれた。 		
課題(今後の方向)	<ul style="list-style-type: none"> 導入するタブレットを小学校は増設、中学校は新設による利用環境の充実を推進させる。 		
担当課	教育総務課		

大項目	1.「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進
中項目	④教職員の資質・指導力の向上
小項目	○教職員としての魅力や実践的指導力を高める研修の充実

基本施策	◆経験年数や職務に応じた研修、教育の今日的課題に対応する研修の充実	評価	B
項目	<p>☆若い教員の指導力を高めるため、「初任者研修」「2年目研修」を充実し、「経年研修(6年目まで)」の在り方を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上推進委員会」「各種主任研修会」「サマーセミナー」を充実します。 ・「嘱託研修員会」を実施し、授業力のある教員を育成します。 ・「教育実践論文」を募集し、研究実践を奨励するとともに優れた実践研究を顕彰します。 ・「土岐市幼稚園教育研究会」「土岐市小中学校教育研究会」を支援し授業力を高めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・サマーセミナーでは、専門家による「いじめ予防講座」「構成的グループエンカウンター ショート・エクササイズ」「道徳教育」の講座を実施し、参加した先生方から好評であった。 ・年2回の市初任者研修で、地域施設で体験的に学ぶ研修を取り入れ、研修の充実を図ることができた。 ・学力向上推進委員会の中から企画委員を選出し、嘱託研修員として率先して今年度の重点についての授業実践を行ったり、広報誌にまとめたりしながら授業力の向上に努めた。 ・小中学校教育研究会の授業研究会に教育研究所指導主事が指導者として訪問して、公開授業をもとに授業力向上の観点から指導を行った。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サマーセミナーや夏休みの教員研修など、今日的課題を取り上げた研修会や教育的ニーズに応じたテーマ設定を行っていく必要がある。 ・大量退職時代に突入し、若手とミドルエイジの指導力の育成が急務であるため、意図的な若手指導が必要である。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も教育的ニーズに応じた知識を持つ大学教授や専門家などを講師とした研修会を企画していく。 ・校内研修を充実していくため、指導主事等の派遣と研推長への意図的な指導など、支援体制を充実する。 ・学力向上推進委員会を生かして学力向上に向けての具体的な取組を市内で共通理解したうえで、各校の課題を意識した取組への発展を図る。 ・優秀な実践論文や実践記録について顕彰し、市内教職員がいつでも閲覧できる環境を整える。 ・教育研究会に適切な指導者を派遣することで、授業研究を通して教科の専門性の向上を図る。 ・教育長訪問において、研究所主任や指導主事が意図的に6年目までの若手教師の授業を参観し、授業規律や教科指導の観点を明確にして指導に当たる。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆教科の専門性と授業力の向上	評価	B
項目	☆小学校と中学校の連携を通して、9か年を見通した学習指導を充実します。 ・大学をはじめ、各関係諸機関との連携を図った教員研修を開催できるように努めます。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職等による小中の連携は多くの校区で行われているが、職員同士の小中合同の教科部会や9か年を通じた教育目標の共通理解などは強化していく必要がある。 ・大学教授を年に2回ずつ各小学校に招聘し、外国語の授業を充実を図ってきた。 ・来年度から始まる小学校外国語の教科化に向けて、3・4年生と5・6年生の担任を中心とした研修を年に5回、外部機関委託によって実施した。 ・来年度から実施される小学校プログラミング教育を充実させていくために、岐阜大学の准教授にアドバイザーを依頼し、泉小学校をパイロット校として授業実践を行った。 ・駄知中学校の「特別の教科 道徳」の指定発表に関わり、道徳に精通した大学の先生を招聘し、職員研修を繰り返し行った。 ・学力向上推進委員会にて教員の授業力向上に向けた「土岐市スタンダード授業」を作成した。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校が連携して9か年を通じた教育目標や児童生徒の姿の共有し、課題を焦点化させて具体的な手だて明確にするとともに、継続した取組により確かな力をつける指導力を向上させる必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みや長期休業を活用して、小中合同の教科部会を持ったり、9か年の教育目標を共有したりする場を設けていくように各学校に働きかけを行っていく。 ・今年度同様、大学をはじめとする各関係諸機関の協力を得ながら、外国語教育やプログラミング教育の推進を図っていくとともに、小中の接続を考えた計画や連携を図っていく。 ・教職員の資質向上や授業力向上に資するよう、大学と連携した研修を行うなど次年度に継続していく。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆児童生徒の内面の理解を深め、学級経営力の向上を図る研修の充実	評価	B
項目	☆児童生徒の実態を把握するとともに、よりよい集団づくりの研修を実施します。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態把握のため、今年度より小学校4年生にもQ-Uアンケートを導入し、小学校4・5・6年生、中学校全学年で年2回以上実施し、児童生徒の変容を検証した。 ・4月の教務主任会でQ-Uリーダー養成研修を実施し、校内研修の実施の仕方や結果分析の方法について学ぶことができた。 ・各学校で検査結果の分析から学級経営の在り方や、学級運営の方法について見直しを図られ、安定した生徒指導が展開できている。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q-Uのような客観的データと日々の学級経営からの内面理解とを関連させた学級経営に関する教員向け研修を実施していく必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務主任を中心としながら、各小中学校でQ-Uの研修会を実施・活用して学級経営や生徒指導に生かしていく。 ・NRT検査を小4・5・6年、中1・2年と拡大したため、NRTとQ-U検査とのクロス集計を生徒指導や学級経営に生かしていくように教務主任会や生徒指導主事会で研修していく。 ・特に若い先生たちに対する学級経営研修を初任者研修の場や若手育成研修の場で行い、学級経営力の向上を図っていく。 ・サマーセミナー等で学級経営基礎講座を実施し、朝の会や帰りの会の在り方や自己肯定感を高める特別活動の進め方など、経験年数の浅い先生からベテランの先生までが互いに学ぶ機会を提供していく。 		
担当課	教育研究所		

基本施策	◆ 広報活動の充実	評価	B
項目	・「教育とき」を発行し、教職員に提供する教育・指導に関する情報を充実します。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の教職員に多様な教育観や教育活動を提供する場として、内容や紙面を工夫して「教育とき」を隔月発行することができた。 ・教育指導の改善について、各方面から意見をいただきながら、情報提供できた。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育とき」の職員指導等への活用が求められる。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔月の発行を継続し、執筆者や内容を精選してい中で、よりタイムリーで有益な情報提供に努める。 ・各学校等で「教育とき」が活用できるように、紙面の構成の一つに学級経営や教科指導、児童生徒理解などの実践提案を行い、その活用の仕方について、教頭会や校長会等で提案し、職員に周知していく。 		
担当課	教育研究所		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	①子育て支援体制の充実
小項目	○家庭教育を学ぶ機会の充実

基本施策	◆子育て支援の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆3歳児までの親子を対象に、「あすなる乳幼児学級」「乳幼児音楽教室」を実施します。 ・3歳児までの親を対象に、発達段階に応じた子育てのポイントを学ぶことができる「あすなる家庭通信」の発送とホームページ掲載を実施します。 ・小学生の親を対象に、「子育て講座」を実施し、子育ての役割や大切さを学びます。 ☆幼稚園、小・中学校の保護者による「家庭教育学級」を実施し、学びと絆を深めます。 ・幼稚園、小・中学校の家庭教育担当者に研修の機会を提供します。 ・企業で働く方を対象に「職場で学ぶ家庭教育学級」を実施します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・あすなる家庭通信 1～3ヶ月、6ヶ月、1、2、3歳のお子さんを持つご家庭に、各月齢に応じたお子さんへの接し方のアドバイス情報を郵送にて提供するとともに、同じ情報を市HPでも提供していることもPRして、母親らの子育ての悩み解消や孤立防止を図っている。毎月90通ほど発送しており、就労などで乳幼児学級などに出不来な母親や父親にも子育て情報を提供している。 ・乳幼児学級 平成28年度から「あすなる乳幼児学級」と「乳幼児音楽教室」とを統合し、「親が子育てについて学ぶ場」、「親の仲間づくりの場」の提供を目的に、「乳幼児学級てくてく」という名称で実施している。0～1歳をひよこ組、2～3歳をうさぎ組として、それぞれ2学級、計4学級に合計65組の親子が参加して、5月から翌年2月の通年で、全17回開催した。内容としては、子育て講話、音楽活動、作品づくり、体操、食育講話を実施した。 ・子育て講座 年度末に各小学校で行われる新小学1年生の保護者を対象とした説明会の場に外部講師を招いて、この時期に重要な子育てにまつわる講話をしてもらうもので、7校で実施された。ほとんどの親が参加する機会を利用した第三者による子育て講座は、学校にも親にも意義深いものとなっている。講師は元小学校の校長先生などで、学校側からは伝えにくい部分の代弁役としても期待されている。 ・家庭教育学級 幼稚園、こども園、小学校、中学校毎に家庭教育学級を保護者が務める学級長が主催し、学びの場の提供、保護者同士の交流の場づくり、親子のふれあいの場づくりのための各種活動を年間を通じて行い、子育てを学ぶとともに親育ちも目指している。こども園1学級、幼稚園7学級、小学校8学級、中学校6学級で、全体交流会も年度初と年度末に実施しており、学級間の情報交換や交流を図っている。年度末のまとめの会では、幼稚園・こども園、小学校・中学校それぞれでまとめの会を実施し、今年度の役員だけでなく、次年度の役員予定者にも参加してもらい、引継に役立ててもらっている。 ・家庭教育担当者研修会 5月に開催された県主催の東濃地区家庭教育リーダー研修会に、各家庭教育学級の学級長と共に、園や学校の担当者にも参加を呼びかけ、家庭教育に関わる多くの方々に参加してもらえた。昨年度から乳幼児期(幼稚園・こども園)、小学校、中学校のそれぞれの部で開催されるようになり、より学齢に特化した内容の情報交換が行われた。 ・企業で働く方を対象とした「職場で学ぶ家庭教育学級」を開催することが出来なかった。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「乳幼児学級てくてく」、「(入学前の)子育て講座」、「(幼稚園、こども園、小学校、中学校の)家庭教育学級」と家庭教育の充実を図ることができているが、職場で学ぶ家庭教育の受け入れ先事業者が見当たらない。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各講座で、家庭教育の基本と今日的な課題といった内容をバランスよく実施していく。 ・職場で学ぶ家庭教育の代わりとなる父親を対象とした家庭教育講座等を開催していく。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆家庭の絆を深める場の提供	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生とその保護者を対象に、親子のふれあいの場を提供します。 ・小学生を対象に生活に必要な技能にふれる機会を提供し、その大切さを学びます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホリデーがくえん「親子で楽しむ木工教室」8月18日にセラトピア土岐にて小学生44名とその保護者が参加し、実施した。全建総連土岐多治見総支部20名の指導のもと、親子で木工教室を楽しみふれあいのひと時を持ってもらった。加子母森林組合のキットにして5年目であったが、手ごろな難易度であり、価格も安価なことから、追加で購入して作ったり、持ち帰ったりする親子も多く見られ、親子のふれあいづくりに貢献できた。 ・GINO CON 2月2日にセラトピア土岐にて小学生77人が参加し、実施した。平成28年度、「コンクール(競争)方式」の「生活技能コンクール」から「検定方式」の「GINO CON」に変更し、各町何人でも、一人何種目でもチャレンジでき、「検定合格」よりさらに上の基準をクリアすると「マイスター」に認定されるものとなり、参加者は検定合格、マイスター認定を目指してがんばった。今年度も全建総連土岐多治見総支部の大工さんのカンナ掛けやノコギリの実演により、子どもたちにプロの技を見せてもらう場も設定し、好評であった。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GINO CONは、各町子連役員でもある市子連の理事や事務局が、小学校側との調整に労力を要することが多い。 ・GINO CONの開催時期について意見の統一が図れていない。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの事業も、親子のふれあい、子どもたちの体験の機会として活用してもらうよう、早目に事業PRを行うことに加えて、小学校側ともより連携しながら事業展開を図りたい。 ・来年度から子ども会活動の運営主体を行政から市子連へと移行していく予定。 		
担当課	生涯学習課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	①子育て支援体制の充実
小項目	OPTA活動への支援体制の充実及び指導者の資質の向上

基本施策	◆PTA活動への支援の充実	評価	B
項目	・市PTA連合会の活動に対して助言や支援をします。		
令和元年度の実績	・今年度のスローガン「心身ともに健やかで 活力ある子どもの育成」のもと、年度内に開催された5回の役員会、4回の実行委員会、総会に生涯学習課も事務局として出席し、助言や支援にあたった。		
課題(今後の方向)	課題 ・市PTA連合会の活動自体の必要性や、単位PTAでの会長等の選出にも苦慮しているなどの意見が交流会で取りざたされた。 今後の方向 ・市PTA連合会や単位PTAの活動内容を会員によりわかりやすく伝え、PTA活動に協力してもらえるように情報提供していくかについて検討する。 ・市内全小中学校のコミュニティ・スクール化に向けた動きに対応し、学校とPTAとの情報共有を図る必要がある。 ・市PTA連合会本部役員に付随している他団体の委員への宛職を見直して負担軽減に努める。		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆小・中学校PTA会員の学びの充実	評価	A
項目	☆市PTA連合会で「研究大会」「交流会」を実施し、学びを広げます。 ☆市PTA連合会母親委員会で「研修会・交流会」を実施し、学びとつながりを深めます。 ・今日的な課題(インターネットをめぐる問題・防災教育の在り方等)に対する研修を行い、安全・安心な環境づくりを推進していきます。		
令和元年度の実績	・市P連実行委員会では、子育てに係る今日的課題への理解を深めるため、2回の研修(講話とワークショップ)を実施した。 1回目(7月):多治見警察署生活安全課より「ネットトラブルと現状、今家庭でできること」 2回目(10月):土岐市スクールカウンセラーによる「発達障害についての理解とその対応」 ・今年度の家庭教育学級のスローガンである「レッツ コミュニケーション～親は家族の太陽であれ!～」に従い、各校の交流を重視した活動を行った。 ・5月に第1回市P連家庭教育学級研修会を開催 演題:「怒りの感情をコントロール! ～子育てに活かすアンガーマネジメント～」 講師:寺田 陽子氏(ファシリテーター) 参加者:55名 ・11月に第2回市P連家庭教育学級研修会を開催 「親もふるさと学習!」をテーマに、視察研修(岐阜かかみがはら航空宇宙博物館・美濃和紙の里見学) 参加者:31名		
課題(今後の方向)	課題 ・第2回の家庭教育学級研修会が、普通日1日開催のため、参加できない人が多い。 ・父親が学ぶ機会が少ない。 今後の方向 ・より多くの保護者に還元できる市P連家庭教育学級研修会のもち方を検討する。特に学齢期の父親が参加でき、子育てについて学べる研修を実施する。		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆家庭教育実践力の向上	評価	B
項目	☆「家庭教育トリプルアクション」に学校・地域と連携して取り組み、家庭教育の実践力を高めます。		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度と同様に会議資料や生涯学習課が使用する封筒に「家庭教育トリプルアクション」を印字し、周知を図った。 ・家庭教育学級の引き継ぎ会などでも、「挨拶、読書、生活習慣」にかかわる学習会や取り組みを推奨する働きかけを行った。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して家庭教育トリプルアクションの周知を図る。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や封筒への印字による周知の継続。 ・来年度もトリプルアクション内の「あいさつ」をキーワードとした活動「土岐市あいさつデー」の展開を拡大する。 ・昨年度作成した冊子「土岐市の生涯学習」を家庭教育学級等の場で活用していく。 		
担当課	生涯学習課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進		
中項目	①子育て支援体制の充実		
小項目	○「子育て」を支援する地域社会の形成		
基本施策	◆青少年の健全育成の推進	評価	A
項目	<p>☆青少年育成市民会議の活動を推進し、各町青少年育成会の活動を高めます。</p> <p>☆社会教育委員の会の学びをいかし、各地域、各団体の取組に対して支援や助言をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町子ども会連合会の活動が充実していくよう確かな助言と支援をします。 ・単位子ども会の指導ができるジュニアリーダーを育てます。 ・青少年育成推進員の研修会を実施し、地域ぐるみの青少年の健全育成に努めます。 ・新成人で構成する実行委員会を中心とした心温まる成人式をめざします。 ・防災無線を使った下校放送を実施し、地域の見守りのお願いと、感謝の気持ちを伝えます。 ・有害図書等を取り扱っている店への立入調査を実施し、青少年の環境浄化に努めます。 ・少年センター指導員による声掛け活動を推進し、青少年の健全育成に努めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成市民会議 引き続き市民会議が中心となって行う事業として、子どもたちを地域で見守るきっかけとしてお互いに顔の見える関係、声をかけあえる関係にしたいとの願いを込め、「土岐市あいさつデー」に取り組むこととした。 5月24日 市民会議総会を開催。議事終了後、多治見警察署生活安全課の少年補導職員より「青少年とSNS」と題して講演を実施。 6月16日 「土岐市青少年の主張大会」を開催。小学生4名、中学生7名、高校生3名が発表。現代の子どもたちの考えを多くの方々に聞いていただき理解を深めた。 7月2日 第1回土岐市あいさつデーを市内一斉に実施。 7月9日 青少年の非行・被害防止全国強調月間駅前啓発活動。市内中学生、保護司会等とタイアップして市民に啓発グッズを配布した。 11月5、8日 第2回土岐市あいさつデーを実施。第2回は、地域ごとに開催日を決定し、実施した。 11月14日 子ども・若者育成支援強調月間駅前啓発活動。市内の3高校・保護司会・更生保護女性会・多治見小売酒販組合土岐支部とタイアップして市民に啓発グッズを配布した。 ・各町青少年育成町民会議 5月から7月にかけて市内全町で実施。育成会ら関係団体が地域全体での青少年健全育成の重要性を再確認するとともに、各町で青少年の主張発表も行われた。 ・各町青少年育成会長交流会 各町育成会長が一堂に会し、市民会議やあいさつデーなどについて意見交換を行った。 ・社会教育委員の会 全8回の定例会の他、東濃や県・東海北陸の大会にも参加し、研究調査テーマ「地域の教育力の向上 ～地域と学校の連携・協働をめざして～」にかかる提言を取りまとめ、3月の教育委員会定例会後に報告した。 ・市子ども会連合会 理事会を開催し、市子連に関わる諸議題について協議した。インリーダー宿泊研修会を開催し、単位子ども会におけるリーダーを養成した。内容を見直しながら「GINO CON」を開催した。 ・ジュニアリーダー 定例会を実施し、インリーダー宿泊研修会の準備及びダンスやゲームの練習を行っている。市子連行事の他、町子連、単位子ども会からの派遣要請に応じ、行事の運営に協力した。 		
課題(今後の方向)	<p>課題・子ども達への声かけが普段から地域で行われる環境づくり。</p> <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度も地域・学校・家庭・子どもたちが連携する「土岐市あいさつデー」を7月と11月に実施する。 ・令和元年度11月からあいさつデーの取り組みを教育委員会職員全体に拡大した。今後は市長部局の職員への拡大を検討していく。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆乳幼児から学童期、青年期の図書館利用の充実	評価	B
項目	<p>☆学校等への定期配本や出張イベントを行い、子どもの読書習慣の形成を図ります。</p> <p>・土岐市子ども読書活動推進計画(第二次)を策定し、子どもの読書活動を推進します。</p>		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館でボランティアによる絵本の読み聞かせ(毎週土曜日)及び0歳児の絵本の読み聞かせ(毎月第3木曜日)を行った。 ・図書館司書による絵本の出張読み聞かせ・ブックトークを行った。 濃南小学校10回(8月・3月を除く月1回)、泉小学校3回(6月・10月・1月) ・図書の配本を行った。 濃南小9回、妻木小11回、放課後教室12回、土岐津小3回、下石小3回、駄知小1回、肥田小1回、泉西小1回、駄知中7回、肥田中1回 ・幼児期、学童期からの図書館利用の促進を図るため、こども園(土岐津)、幼稚園(土岐津)、小学校(肥田小2年、泉小2年)の見学の受け入れを行った。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの図書館利用拡大のため、広く図書館を知ってもらい、利用を促進する必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動を推進するため、図書館における読み聞かせ会を引き続き行う。 ・図書館をもっと知ってもらえるよう学校等の見学の受入れや情報発信を工夫する。 ・学校への司書による出張読み聞かせや図書の配本を引き続き行う。また、読み聞かせや配本実施校を増やせるよう、学校等への働きかけを行う。 ・土岐市子ども読書活動推進計画(第三次)を策定し、家庭、地域、学校と連携して読書活動を推進し、子どもの読書率の向上を図る。 		
担当課	図書館		

基本施策	◆地域の実践力の向上	評価	B
項目	<p>・「地域教育トリプルアクション」に取り組み、地域の実践力を高めます。</p>		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成推進員研修会や社会教育委員の会、市民会議総会等の場を活用し、「地域教育トリプルアクション」を重点に実践されるよう呼び掛けた。 ・青少年育成市民会議並びに町民会議の資料等に「地域教育トリプルアクション」を掲載し周知を図った。 ・青少年の主張作文集奥書に「地域教育トリプルアクション」を掲載し周知を図った。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して地域教育トリプルアクションの周知を図る。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料や封筒への印字による周知の継続。 ・来年度もトリプルアクション内の「あいさつ」をキーワードとした活動「土岐市あいさつデー」の展開の拡大を図る。 		
担当課	生涯学習課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	①子育て支援体制の充実
小項目	○放課後教室の推進と充実

基本施策	◆異年齢交流と体験学習を目的とした「放課後教室」の実施	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆教室内の異年齢交流、夏休みの高校生・大学生との交流を実施します。 ・年2回「チャレンジデー:体験学習」や各教室で工夫した体験学習を実施します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全小学校内に放課後教室を整備し、授業終了後の児童に、異年齢交流や地域の指導員・支援員とのふれあいを通じた学習の場を提供している。実態として、保護者が就業している子の保育の場としての機能も兼ね備えている。 ・夏季休業中には、高校生にも臨時指導員として協力してもらい、高校生の社会参加も図っている。児童には、年齢が近いこともあって好評であり、新しい交流が生まれている。 採用人数:土岐商業高校9人、土岐紅陵高校10人、瑞浪高校1人、計20人 ・今年度は、学校支援員の方にも臨時指導員として勤めていただいた。 ・各教室で年2回のチャレンジデーを実施し、児童に体験の幅を与えている。 「科学実験教室」、「陶芸教室」、「昆虫教室」、「妻木音頭」、「リトミック教室」、「軽スポーツ教室」など。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の増加により教室のスペースが狭い教室がある。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室のスペースが狭い教室があるため、小学校施設内に放課後教室として新たに使用可能な施設がないか小学校と協議を行う。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆研修の実施	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員の資質・指導力の向上をめざした研修を年2回行います。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員のみならず室長も参加し、アレルギー講習を5月に、「安全・安心」をテーマにした研修を1月に実施する予定である。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズの高い研修課題の設定。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々なテーマでの研修に取り組む。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆安全・安心な環境の整備	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆各教室に防災計画を作成し、避難訓練を行います。 ・保護者に児童を安全に引き渡します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の安全を確保するため、保護者の方への確実な引き渡しを行っている。 ・警報発令時などに学校との情報共有を行いメールを送信している。 ・大型化したランドセルに対応したロッカーの設置 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が年々増加する傾向にあり、人数に適した指導員や教室スペースを増やす必要がある。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数の増加に対応できる人員配置の検討。 		
担当課	生涯学習課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	②地域づくり型生涯学習の充実
小項目	○公民館等を活用した生涯学習の拠点づくりの推進

基本施策	◆生涯学習体制・指導者の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆各地区公民館同士のネットワークの構築をめざし、市内の連携を図ります。 ☆各公民館講座を通して、社会教育関係団体・指導者の育成を図ります。 ・「生涯学習指導者バンク」の活用を推進します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・主事会を開催し、生涯学習課と主事、また主事同士の情報交換を行った。また、通常の会議以外に職員研修として「普通救命講習」を実施した。 ・各公民館が発行する公民館だよりを相互に交換し、情報共有を図った。 ・生涯学習指導者バンク登録者による「おためし講座」等を実施した。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して主事の意識向上及び資質向上に努める必要がある。 ・生涯学習指導者バンク登録者がまだまだ活用されていない。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主事会での職員研修を継続する。 ・生涯学習指導者バンクの登録者による「おためし講座」を継続する。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆公民館講座・市民大学講座等の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆公民館講座活性化事業を実施し、各公民館の特色ある講座の充実を図っていきます。 ・市民のニーズを把握し、学びの場を提供します。 ・専門的知識を有する大学教授陣による「市民大学講座」を実施します。 ・高齢者大学(はなの木大学)に対して助言・支援し、高齢者の学びと交流の場を充実します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営協議会補助金交付事業により、各公民館での特色ある講座の実施を支援した。 ・市内公民館講座情報をまとめたチラシを5月と9月に市内全戸配布し、市民に学びの場を提供した。 ・専門的知識を有する大学教授等を講師として招き、市民の知識、教養の向上及び学習意欲の促進のための「市民大学講座」を年4回開催した。 ・高齢者大学では、役員会・運営委員会、全体学習の活動を支援した。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズを把握し、市民大学講座や各地区公民館主催講座の充実を図る。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の内容、開催時期、開催時間等の見直しを行い、各講座の参加者満足度、定員充足率を向上させる。 ・健康寿命延伸事業を関係課と連携し、実施する。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆安全・安心な公民館施設	評価	A
項目	・計画的に公民館施設の点検・整備を行っていきます。		
令和元年度の実績	・特定建築物定期報告にかかる公民館の大規模改修工事を実施した。 (駄知民館外壁改修工事・泉公民館屋根防水工事等)		
課題(今後の方向)	課題 ・危険性のある箇所は、速やかに、かつ、優先順位を決め計画的に修繕や改修を実施していく必要がある。 今後の方向 ・来年度は、駄知公民館の外壁改修工事(北面・東面)、曾木公民館屋根防水屋根防水改修工事等を実施する。 ・引き続き、利用者の安全・安心を第一に考え、設備の修繕や改修を計画的に実施する。		
担当課	生涯学習課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	②地域づくり型生涯学習の充実
小項目	○公民館を拠点とした地域の教育力、絆づくりの推進

基本施策	◆地域づくり活動の充実	評価	B
項目	☆公民館で活動する団体によるアウトリーチ活動(地域に貢献する活動)を推進します。 ・公民館まつり・夏まつりなど、地域住民相互の絆を深める行事への参加を推進します。 ・公民館行事に参画するなかで、「当てにし、当てにされる」地域のつながりを育み、地域への愛着がより強まるように支援します。		
令和元年度の実績	・各公民館を拠点とする社会教育関係団体に、公民館まつりや夏まつりなどの行事参加や公民館清掃などに協力してもらった。 ・市内8地区9公民館が地域拠点となり、住民相互の絆を深める公民館まつり等が実施された。 ・公民館行事に、中学生がボランティアとして参加することで、地域とのつながりを育み、ふるさとを再認識する機会となった。		
課題(今後の方向)	課題 ・公民館で活動する団体によるアウトリーチ活動の推進が十分にできていない。 今後の方向 ・社会教育関係団体が公民館を拠点とした活動を軸にしなが、アウトリーチ活動ができる場を提供する。		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆ボランティア活動の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ☆地域での中学生ボランティアの参画を推進します。 ・高校生、大学生、若者のボランティア活動への参加を推進します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区での青少年育成町民会議や花植え作業、夏まつり、公民館まつりなどに、各中学校を通じて中学生ボランティアを募集し、当日の準備から運営、片づけなどを手伝ってもらった。 ・昨年「土岐津町いきいきボランティアの会」が土岐津中学校の生徒(有志)11人と「土岐津ユースプロジェクト」を立ち上げ、今年も10月の土岐津町民文化祭の企画の一つとして「ハロウィンパーティー」を開催した。この企画は、中学生が企画・運営を行うもので、市内では初の中学生ボランティアの参画イベントとして継続開催された。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生ボランティアの子どもたちが町民行事などに参加人数は増加しているが、なかなか参画まで至った事例は少ない。また、中学卒業後の継続参加が少ない。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区で立ち上がりつつあるボランティア組織等の動きを引き続き支援する。 		
担当課	生涯学習課		

基本施策	◆地域を支える組織・団体の活動支援	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・生活学校、青年団、女性の会に対して、支援や助言をします。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活学校・・・4月の開校式以降、会議やイベントに職員も参加し支援した。 今年度は、これまでの活動により内閣府「エイジレス・ライフ実践事例及び社会参加活動事例」に決定した。 ・青年団体協議会・・・11月3日に恒例の「ふれあいパーティー」を土岐津公民館で開催し、職員も参加し支援した。 「ふれあいパーティー」の1ヶ月前に、恋活アドバイザーを講師に招いて服装や男女間での話し方、エチケットなどパーティー参加に欠かせないスキルを勉強できる「スキルアップセミナー」を初めて開催したが、参加者に好評であった。 ・女性連絡協議会・・・陶史の森まつりにおいて、五平餅やかき氷の出店を行い、まつりを盛り上げた。 		
課題(今後の方向)	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体とも、より目的を明確にし、自立した活動をしていただくことが望ましい。 <p>今後の方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団体の活動を引き続き支援するとともに、各団体間の連携・協力を促進する。 		
担当課	生涯学習課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	②地域づくり型生涯学習の充実
小項目	○図書館を活用した生涯学習の充実

基本施策	◆図書館での活動の充実	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・☆館内書架等の施設整備をすることで、使いやすい図書館にしていきます。 ・4か月児健診で行うブックスタートなど、市民に対して読書活動の啓発をします。 ・資料収集の具体的計画を作成、計画的収集を一層推進し、資料の充実、醸成を図ります。 ・図書館イベントやボランティアをより充実させ、本を読む以外にも図書館に通いやすい環境づくりをします。 ・郷土資料の収集などを充実させ、活用しやすい環境を整えます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性を向上するため、図書館情報システムの書誌データを随時更新し、蔵書点検(年1回)を行った。 ・老朽化した書架(2階)の更新、空調設備及び自動ドアセンサー等の修繕を行った。 ・寄附金を活用し、老朽化したガラスの展示ケースを安全面に配慮した木製のものに更新した。 ・保健センターにおける4か月児健診時(月2回)にブックスタートを実施し、読書活動の啓発を行った。 ・新刊図書を毎月400冊以上購入し、1年を通して計画的な収集・排架を行った。 ・読書啓発のため、館内3か所展示(毎月1回)、読書の小径(毎月1回)、図書館だより(毎月1回)、図書館だより児童版(年4回)、日替わり定食(開館日の毎日)において図書を紹介した。 ・図書館利用の推進のため、多様な講座・イベントを17件開催し、本を読む以外にも図書館へ通いやすくなる環境づくりを行った。 ・読み聞かせボランティア(毎週土曜日及び毎月第3木曜日)及び図書修理ボランティア(毎月第1火曜日)等の活動を支援した。 ・郷土資料利用者の利便性を高めるため、史料整理室職員を継続配置(毎月第2・第4水曜日)した。 ・大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に関連し、明智光秀に関する資料の展示を行った。 		
課題(今後の方向)	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設後40年を超える老朽化した建物・設備であり、利用者が気持ちよく利用できるより良い読書環境を作る必要がある。 <p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、講習会など多様なイベントを開催するほか、読書啓発、図書館の利用促進、ボランティアの支援・育成を行う。 ・より良い読書環境を提供するため、施設・設備の日常点検や計画的な整備を行い、また資料の充実・醸成を図るため、蔵書の計画的な収集を行う。 		
担当課	図書館		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	③文化芸術活動の推進
小項目	○文化芸術に親しむことのできる環境づくりの推進

基本施策	◆質の高い文化芸術の提供	評価	A
項目	<p>☆公益財団法人土岐市文化振興事業団と連携し、文化芸術振興事業を多様な分野で開催し、質の高い文化芸術を提供します。</p> <p>・芸術普及活動を行い、公演者と地域住民・児童生徒等との交流を深めます。</p>		
令和元年度の実績	<p>☆主に(公財)土岐市文化振興事業団へ委託して以下の事業を実施</p> <p>・芸術鑑賞事業＝「唄の音2」コンサート」篠笛 佐藤和哉(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>・文化講演会事業＝「金澤翔子席上揮毫 金澤泰子講演会」(6月2日) 「近藤サト講演会」(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>・アウトリーチ＝セントラル愛知交響楽団管弦楽アンサンブルによるアウトリーチ公演 (10月21日(月):西陵中・土岐津中、12月12日:肥田小・駄知小)</p> <p>・ワークショップ＝「やさしいパワーヨガの会」(6月25日(火)、7月2日(火)、9日(火)、16日(火)) 「TOKIダンスコレクション2019 大前光市ワークショップ」(6月30日) 「スタインウェイピアノ 一般開放」(7月13日(土)、14日(日)、27日(土)、28日(日)) 「えいごdeリトミック」(10月5日)、 「合唱ワークショップ」(11月24日(日)、12月1日(日)、8日(日)、15日(日)) 「熱気球をとばそう」(12月7日)</p> <p>※新庁舎建設により搬入口が使用できないこと、駐車場使用台数が制限されることから、例年より事業規模、回数を縮小して実施。</p>		
課題(今後の方向)	<p><課題> クラシック音楽等の芸術鑑賞事業の充実と鑑賞者の確保、市民のニーズに合わせた事業の展開</p> <p><今後の方向> 引き続き多様な分野で芸術を鑑賞し、体験できる機会を提供する。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆文化芸術活動の支援	評価	A
項目	<p>☆文化プラザを継続的に整備し、文化芸術活動拠点としての機能を維持します。</p> <p>・美術展、音楽祭、文芸祭等を開催し、文化芸術活動発表の場を提供します。</p> <p>・文化団体連盟祭の開催等を通じ、文化団体活動を支援します。</p> <p>・青少年の文化芸術活動を支援します。</p>		
令和元年度の実績	<p>☆文化プラザ補修整備＝非常用自家発電装置取替工事、防火扉ラッチ修繕</p> <p>・文化芸術活動発表の場の提供＝文芸祭(表彰式:12月1日)、プラスの集い(10月5日)、美術展(幼少年の部11月2日～4日、一般の部11月14日～17日)、スプリング夢コンサート(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</p> <p>・文化団体活動の支援＝文化団体連盟祭の開催(4月26日～28日)、土岐ウインドオーケストラほか文化団体事業等への後援10件、美術作家連盟展開催支援(補助金)</p> <p>・青少年の文化芸術活動への支援＝土岐少年少女合唱団定期演奏会ほか後援10件、プラザ使用料減免4件を実施</p>		
課題(今後の方向)	<p><課題> 文化プラザ利用者の安全性・快適性を確保するための施設改修の計画的な実施</p> <p><今後の方向> サンホール・ホワイエ天井耐震化、施設の長寿命化のための老朽化調査</p>		
担当課	文化スポーツ課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	③文化芸術活動の推進
小項目	○文化財の保護・活用、伝統文化の保存・継承

基本施策	◆文化財の保護・活用の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の現状等の調査を行い、修復や環境整備を行います。 ・文化財調査を行い、必要に応じて新たに指定し保護します。 ・文化財保護団体を支援し、文化財の保護活用を行います。 ・地域住民等との連携を図り、文化財を愛護する意識を高めます。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財の保存・活用＝乙塚古墳附段尻巻古墳第1期整備工事(委員会の開催9月・1月)、白山神社のハナノキ及びヒトツバタゴ環境整備(委員会の開催11月) 指定文化財現状確認調査(妻木町) ・文化財保護団体への支援＝妻木城址の会・流鏑馬行事保存会・打囃子保存会への補助、久尻大坪地区史跡保存会へ文化財環境整備資材支給 		
課題(今後の方向)	<p><課題> 未指定文化財を含めた市内文化財の総合的な調査と把握</p> <p><今後の方向> 指定文化財の現状調査、乙塚古墳附段尻巻古墳整備工事、白山神社のハナノキ及びヒトツバタゴの環境整備工事</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆埋蔵文化財保護の推進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・遺跡地図を整備し、適切な開発指導を行います。 ・埋蔵文化財の調査体制を維持し、埋蔵文化財保護を推進します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な開発指導の実施＝文化財保護法第93条届出52件、第94条通知6件 ・埋蔵文化財保護＝埋蔵文化財発掘調査出土遺物整理等の監理(妻木平遺跡) (公財)土岐市文化振興事業団へ委託して開発等が計画された土屋敷ほか市内各遺跡において試掘確認調査及び立会調査を実施。(市内各遺跡:試掘確認調査8ヶ所、立会調査5ヶ所) 		
課題(今後の方向)	<p><課題> 詳細遺跡地図における埋蔵文化財包蔵地の範囲等の見直し</p> <p><今後の方向> 引き続き、現在の埋蔵文化財調査体制を維持し、適切な保護を行っていく。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆伝統文化の継承と振興	評価	B
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化保存団体を支援します。 ・伝統文化保存団体との協働により、青少年が伝統文化にふれる機会を提供します。 ・後継者育成につながるよう各種団体、公民館活動等との調整を図ります。 		
令和元年度の実績	伝統文化保存団体を支援＝流鏑馬行事保存会、打囃子保存会、中馬馬子唄保存会へ助成実施「打囃子」の映像記録保存		
課題(今後の方向)	<課題> 無形民俗文化財の後継者育成と伝承への対応 <今後の方向> 引き続き、伝統文化保存団体の支援を行っていく。		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆郷土の歴史に関する資料の収集・整理	評価	A
項目	・郷土の歴史に関する資料の収集・整理を行い、次の世代に継承します。		
令和元年度の実績	古文書等の燻蒸処理 古文書資料の読解を行う等、史料整理を実施し、資料集(18号)を刊行 図書館3階郷土資料室にて郷土史調査相談窓口の開設(第2・第4木曜日)		
課題(今後の方向)	<課題> 古文書等を読解できる後継者の確保または育成 <今後の方向> 引き続き、史料の翻刻と収集を行う。		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆織部の里の利用促進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・織部の里において作陶体験の場を提供し、美濃桃山陶に触れる機会を提供します。 ・美濃陶磁歴史館、乙塚古墳附段尻巻古墳と合せた総合的な整備活用を検討します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃桃山陶に触れる機会の提供＝(公財)土岐市文化振興事業団へ委託し作陶体験の場を提供したほか、茶会(野点、暮雪庵茶会)等を開催 ・(公財)土岐市文化振興事業団職員による史跡の案内 ・花菖蒲園の手入れ 		
課題(今後の方向)	<課題> 美濃陶磁歴史館や乙塚古墳等との総合的な活用の方法やサイン等統一の検討 <今後の方向> 花菖蒲園を維持し、公園として新たな魅力の付加		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆美濃陶磁歴史館事業の推進	評価	A
項目	☆機能維持と収蔵庫の充実に必要な工事・修繕を実施します。 ・展覧会や講演会・講座の開催を通じ、美濃焼の歴史や郷土の歴史・文化に対する関心を高めます。		
令和元年度の実績	展覧会の開催＝企画展「東美濃の縄文土器－東と西の文化が会う場所－」(5月～9月) 企画展「郷の木古窯跡群」(9月～11月) 企画展「昭和、美濃の陶工 林景正」(11月～2月) 特別展「光秀の源流 土岐明智氏と妻木氏」(2月～次年度5月) 講演会の開催＝「崇禅寺の位牌に見る明智氏と妻木氏(仮題)」 講師：黒田正直(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 「明智光秀と妻木氏(仮題)」 講師：土山公仁(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 講座等の開催＝「大人だって作りたい！石の勾玉」(中学生以上対象：6月29日) 「石をけずって みがいて まが玉をつくろう」(小学生対象：8月3日)		
課題(今後の方向)	<課題> 収蔵品の保管場所の確保と民俗資料等の整理 <今後の方向> 新たな資料館の検討		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆収蔵品の有効活用	評価	A
項目	・文化芸術品や美濃焼陶磁資料を収集整理し有効活用します。 ・収蔵品の館外展示を通じ、地域の歴史や文化にふれる機会を提供します。		
令和元年度の実績	・資料の収集＝第12回現代茶陶展大賞作品等(3点)、近現代陶磁資料(1点)、 土岐市陶芸協会優秀作品(1点)、美濃陶磁歴史館資料(2点) ・館外展示＝「THE DONBURI」(土岐美濃焼まつり会場：5月3日～5日)		
課題(今後の方向)	<課題> 収蔵品の保管場所の確保と展示等で有効に活用する方法の検討 <今後の方向> 引き続き、陶磁資料を中心に資料の収集を行い、公開して活用する。		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆やきもの文化の振興と情報発信	評価	A
項目	☆公募による作陶展を開催し、やきもの文化を広く情報発信します。		
令和元年度の実績	第12回現代茶陶展の開催(4～5月) 第13回現代茶陶展の公募、審査(2月)、図録作成(3月) 応募点数：318点・応募者246人		
課題(今後の方向)	<課題> 応募者の確保と公募展のさらなる情報発信 <今後の方向> 公募展の情報を強化し、現代茶陶展を開催して行く。		
担当課	文化スポーツ課		

大項目	2. 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツ推進
中項目	④スポーツの推進
小項目	○市民がスポーツに親しめる体制、環境づくりの推進

基本施策	◆市体育協会等の活動支援と連携強化	評価	A
項目	<p>☆市体育協会、各種種目協会、町体育協会、レクリエーション協会が開催するスポーツ教室や大会などを支援し、各団体の自立と活性化を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市総合体育大会」の充実を図り、市体育協会の活性化に努めます。 ・「東濃総合体育大会」「県民スポーツ大会」の出場を支援し、競技力の向上を図ります。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全29種目にわたる市民総合体育大会春季大会、夏季大会及び冬季大会を開催し、多数の市民の参加があり、競技スポーツの強化・普及を図ることができた。 ・東濃総合体育大会・県民スポーツ大会に積極的に取り組んだ結果、東濃総体は2位、県民スポーツ大会は7位となることできた。 ・各町体育協会によるスポーツ行事を開催し、住民参加の生涯スポーツを推進することができた。 		
課題(今後の方向)	<p><課題> 市民総合体育大会参加者増加、東濃総合体育大会及び県民スポーツ大会での上位入賞</p> <p><今後の方向> 引き続き、体育協会理事会や結団式を開催し、参加者や市民の士気高揚を図る。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆スポーツ指導体制の充実	評価	A
項目	<p>☆スポーツ団体の指導者に対する研修を実施し、優れた指導者の育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育協会をはじめとするスポーツ団体の自立を促し、適正な指導体制の確立を推進します。 ・スポーツ推進委員のレベルアップを図ります。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃地区スポーツ推進委員研修会、東海四県及び岐阜県研究大会に参加し、スポーツ推進委員の資質の向上を図った。 ・スポーツ推進委員がイベント・教室を企画・運営することで、企画力の向上ができた。 ・ジュニアクラブの指導者、関係者を対象に講習会を実施し、指導者のレベルアップ、クラブ活動の健全化を図った。 		
課題(今後の方向)	<p><課題> 指導者の資質と能力向上のための指導者研修会内容の充実</p> <p><今後の方向> スポーツ推進委員の質をさらに高めるために、研修会・研究大会(東濃・岐阜県・東海四県)に積極的に参加していくとともに、ジュニアスポーツ指導者の研修の回数や対象者を増やす。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆スポーツ・レクリエーションの普及	評価	B
項目	<p>☆誰もがどこでも参加できる軽スポーツ・レクリエーションの普及を図ります。</p> <p>☆スポーツ推進委員と連携し、生涯スポーツ事業を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツフェスティバルを開催し、各種種目協会、町体育協会、スポーツ推進委員会、レクリエーション協会の協力により、幅広い年齢層を対象にスポーツへの関心を高め、交流の機会を提供します。 ・若年層・勤労者層のスポーツ活動への参加を促進するシステムを構築します。 ・「ロードレース」「一周駅伝大会」への幅広い層からの参加を促し活性化を図ります。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ推進事業として、親子バランスボール教室、親子スポンジテニス教室及び大会を実施した。 ・スポーツフェスティバルを開催し、市民が健康で充実した生活を送るためのスポーツの普及と振興を目的とした体験型スポーツイベントを開催し、昨年同様の来場者があった。 ・ぎふ清流レクリエーションフェスティバルの一環でラダーゲッター大会が総合公園を会場に開催された。 ・森林ウォーキングは、紅葉が楽しめる時期に開催した。昨年度より参加者が増加し、90%以上の高い満足度を得ることが出来た。 ・ロードレース大会及は昨年度より参加者が増加し、一周駅伝大会はより参加しやすいようにコースの見直しを実施した。 		
課題(今後の方向)	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ロードレース」「一周駅伝大会」への幅広い層からの参加を促すよう広報活動を強化する。 ・参加者の増加を図るため、昨年度の反省やアンケート結果から市民ニーズに合った形への見直しを行う。 <p><今後の方向></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子バランスボール教室、親子スポンジテニス教室、ノルディックウォーキング教室、森林ウォーキングなどの生涯スポーツ事業をスポーツ推進委員と連携して実施していく。 ・「ロードレース」「一周駅伝大会」も改善を行いながら引き続き実施する。 		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆スポーツを通じた交流の促進	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津市とスポーツ交流会で幅広い競技の交流を実施し、自主交流を促進します。 ・スポーツを通じた他地域との交流の拡大や地域の活性化を図ります。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に焼津市、10月には本市でスポーツ交流(種目:バドミントン・卓球・弓道・インディアカ・グラウンドゴルフ・スポーツ推進員)を実施した。 ・6月に本市に焼津市から中学生を迎え、中学校スポーツ交流を行った。 ・8月に本市に焼津市からスポーツ少年団を迎え、スポーツ少年団交流を行った。 		
課題(今後の方向)	<p><課題></p> <p>交流種目の拡大と自主交流の推進</p> <p><今後の方向></p> <p>引き続き、本交流(年2回)、中学生交流、スポーツ少年団交流を実施するほか、自主交流を支援する。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

基本施策	◆体育施設の利用環境の充実	評価	A
項目	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館等の計画的な改修・整備を行い、安全・安心な施設運営を行います。 ・利用者のニーズを把握し、学校施設開放の利用を促進します。 		
令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場の第4種公認取得 ・学校開放使用団体代表者会議を開催し、今年度の施設の利用を調整し使用のルールを守るよう促した。 ・月2回の定期点検を行い、不具合等があれば常時、改修・整備を行った。 ・備品等を購入し、各施設の環境改善を行った。 		
課題(今後の方向)	<p><課題> 老朽化した施設も多く、大規模な改修等が必要</p> <p><今後の方向> 適宜、施設の改修や修繕等を実施し、利用の少ない老朽化した施設の整理を行う。</p>		
担当課	文化スポーツ課		

土岐市教育委員会の点検及び評価について（総評）

岐阜聖徳学園大学 教授 水川 和彦

この度、土岐市教育委員会作成の「教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（平成31年度実績）」並びに、関係資料の数々を検討させていただく機会を与えられ、光栄であるとともに身の引き締まる思いである。織部ゆかりの土岐市で、未来を拓く子どもたちの教育、そして人づくりを力強く展開されている貴教育委員会においては、平成22年度に策定した10年計画の教育振興基本計画「夢・絆プラン」を、5年後の平成27年度には、後期5年計画として再度グランドデザインされ、よりダイナミックな取組として展開されてきたことに心から敬意を表したい。

貴市のめざす姿「夢を持ち、人との絆の中で育ち合う『ひたむきな社会人』」は、なにより、土岐市の未来を拓く人づくりの展開であり、そこに育つ子どもたちの未来づくり、そして、そこに生きる市民一人一人の生きがいがづくりであると強く感じている。同時に、教育振興基本計画の中核に置く「織部のこころ」は、自由で大胆な創造性をもってたくましく生きようとする土岐市民の心の象徴であることに、深い共感を覚えずにはいられない。

そして、「えがく力」「ひらく力」「つながる力」の3つの力を織部の心をもって生きていくために最も必要な3つの力として展開する土岐市の教育こそが、「夢と絆」を大切にする土岐市の未来づくりであるに違いないと感じている。

この、壮大な夢づくりの実現を目指す教育振興基本計画の最終年度の実践内容について、次期計画の足がかりとなるよう意見をまとめさせていただく。

1 「生きる力」の育成と今日的課題に応じる教育の推進

① 「確かな学力の育成」について

Society5.0に代表される未来社会をたくましく生き抜いていく子どもたちに、自ら課題を発見し、多面的な解決に自ら取り組み探究を続けていくたくましが求められることは言うまでもない。変化の激しい予測困難なこれからの社会を生きる子どもたちにとって「生きる力」とは、いうならば「問い続ける力」であり、同時に、たとえ正解のない問いに対しても、自分なりの結論に確実に「たどりつく力」であるだろう。

その意味からも、貴市においては、学校教育の方針と重点の基本目標・教育方針に一貫して「生きる力」の育成を掲げ、特に、生きる力を知の側面からとらえた「確かな学力」の育成を学校教育の重点の一つに設定し、学ぶ楽しさのある授業・学び手の側に立つ学習指導の実現をめざしてきている。令和2年度から全面実施となる新学習指導要領においても、より主体的な探究を通して、深い学びを保障する授業づくりが求められていることに

鑑みると、「確かな学力」の要素である、知識や技能、思考力・判断力・表現力、学ぶ意欲などを総合的かつ全体的にバランスよく身に付けさせ、さらに子どもたちの学力の質を高めていくという視点は一層大切な視点となってくる。

貴市のアプローチは、そうした視点に立って実践上の課題の共有化を図り、市全体として確かな方向性をもって粘り強く具体的な実践を積み上げていこうとするものであり、とりわけ、研究指定校である土岐津小学校、駄知中学校、泉中学校の研究実践及び公表会も、目指す授業を具現する先行研究の貴重なモデルとして、広くその成果を周知する役割を果たしたと考えている。

さらに、学力育成の核として貴市が掲げてきた、「授業トリプルクオリティ」（「意欲・規律」「深い思考」「学び方」）については、子どもの側に立った、「質の高い学び」づくりの指標及びその方途として浸透してきていると考えている。さらに、本年度は「家庭学習の手引き（中学校版）」「土岐市の授業スタンダード」を作成するなど、また、市全体として確かな学力の育成を目指す取り組みが形に現れてきていることも評価に値する。今後、これらを各学校において、どのように活用していくかで、その成果がさらに子どもの姿に反映されていくにちがいない。

一方、土岐市では、全ての幼稚園、小・中学校を対象に学校訪問が計画的に実施され、共通事項の取組状況や各園・各学校の特色ある実践内容の把握とともに、指導助言が意図的・継続的に営まれている。今後、これらの機会を通して、一層、「授業トリプルクオリティ」の現状把握と具体的な指導助言を継続して、確かな学力づくりを全市としての取組に高めていくことを期待している。

また、今後、学校がコミュニティスクール化していくことに伴い、9年間一貫教育はもとより、幼稚園・保育園との確実な連携をすすめ、12年間一貫教育をめざしたスタートカリキュラムの実行へと発展することに期待したい。

とりわけ、「幼児期の終わりにまで育ててほしい姿」についても、送り出す側はもとより、受け入れる小学校側にも十分な理解がされつつあるので、今後、日常的な連携、卒園児の連携、小学校入学後の見届けなど、情報の共有だけでなく、行動連携をも期待したい。

また、特別支援教育の充実を図るために、特別支援教育連携協議会を機能させ、各保育園・幼稚園の巡回相談や就学前の幼児・保護者の教育相談を実施するとともに、きめ細かな学校支援事業として、一人一人の児童生徒のニーズに対応できる学校支援員を引き続き配置するなど、就学前から一貫した支援ができるように努めていることも評価できる。

高度な専門知識に基づく指導と、個別のニーズに的確に対応するための支援スタッフの配置・活用が特別支援教育の質の向上の鍵を握ると考えて、一層の充実を図りたい。また、家庭環境の多様化・複雑化や保護者との共通理解のむずかしさが、指導を困難にしている一因になっていることにも鑑み、今後、保護者へのよりきめ細かな支援を組織的・継

続的に行っていくため、相談窓口の一本化に向けた方法の検討や、家庭環境の課題に配慮した連携・支援の在り方の探究などが重要な課題となると考えている。

② 「豊かで健やかな児童生徒の育成」について

特別な教科としての道徳は平成30年から全面実施となり今日に至る。この教科は、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己（人間として）の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることをねらいとしている。

貴市が目指す、「豊かで健やかな児童生徒の育成」は、単に心やさしくおもいやりのある児童生徒を育てるということだけでなく、「人間としての心根のゆたかさ」や「人を大切にする行動」ができる子どもたちの育成を学校ぐるみ、地域ぐるみで実現していこうとするものであり、高く評価したい。

とりわけ、貴市においては、各学校における道徳の時間の指導に加え、中学校区単位での地域ぐるみの道徳教育推進事業の推進を図り、更には人権教育推進の一機会として「ひびきあいの日」の取組も継続的に実践されている。さらには、そうした実践の優良校に対して「人権文化あふれる学校賞」や「ひびきあい賞」を位置付け顕彰するとともに、各学校の取組を相互交流し、それぞれの学校の実践がより充実・発展していくよう努めている点も評価できる。これらの賞を受賞した、泉小学校、駄知幼稚園、土岐津小学校、泉小学校、下石小学校、濃南中学校、駄知中学校の取組は、地域ぐるみの実践の成果でもあり、土岐市全体にその取り組みのノウハウが広がっていくことに期待したい。

もとより道徳教育・人権教育は、人間教育の普遍的で中核的な構成要素であり、自立した一人の人間として人生を他者ととともによりよく生きる人格を形成することをめざすものである。こうした観点からも、引き続き道徳教育・人権教育の地道な積み上げを期待したい。

また、自らの将来を見据えた生き方教育として、勤労観や職業観をはぐくむ職場体験学習も、各地域の実情を踏まえて実施されており、キャリア教育も中学生の生き方教育の一つの大切な場となっている。具体的には、全中学校での地域人材を活用した職業講話や生き方教室の実施、全小学校での将来への夢を考える「夢の教室」の開催やボランティア登録を活用した地域活動など、市内の全児童生徒が共通してキャリア教育の視点に立った学びを計画的に進めていることである。

今後、コミュニティスクール単位での、9年間一貫教育の展開に伴い、9年間のキャリア発達を見据えた全体計画の作成や、小学校におけるキャリア教育の展開に期待をしたい。

一方、今日的な課題であるいじめ等の問題行動や不登校等への対応については、市として「土岐市いじめ防止基本方針」を策定し、各学校が独自の方策を工夫していじめを生ま

ない取組をダイナミックに展開している点を評価したい。また、学校の取組に加え、教育相談適応指導教室（浅野教室）を軸に不登校等に対する教育相談を機能させている点が高く評価できる。また、いじめ等の発生事案の解決に向けた取組が、基本方針に基づいてそれぞれの学校を中心に組織的になされ、市教育委員会とも連携しながら解決の方向を見出しており、今後も絶えず基本方針に立ち返った取組を着実に継続し、いじめ等の未然防止、早期発見・早期対応、再発防止に努められることを強く願うところである。

さらに、健やかな体づくりへの取組に関わって、栄養教諭と学校栄養職員による全ての幼稚園、小学校、中学校への学校訪問指導の実施や、アレルギーへの対応を丁寧に行うなどの努力が積極的になされている。また、ジュニアスポーツ指導者研修会を実施し、子どもたちに直接関わる指導者の資質向上を図るとともに、子どもたちがスポーツに触れ合う親子教室やスポ少行事を開催するなど、市全体として心身ともに健康な体づくりができる基盤が作られつつあることは評価できる。さらに、岐阜県学校歯科保健優良校「大規模校（県1位）」に土岐津小学校が、「中規模校（優良校）」に妻木小学校が、「歯科保健推進校」に肥田小学校が受賞したことも日々の指導の成果であると考えている。

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成が求められる中で、貴市の「豊かで健やかな児童生徒の育成」は、自立する力の基礎・基本としての「徳・体」に焦点を当てた施策展開ととらえることができる。そうした事業実践が、一人一人の自立する力の基礎・基本となる他者と関わり合い認め合う力、思いやりの心、自己コントロール・自己管理の能力、食・生活習慣の形成、健康増進・体力向上などにつながっていくよう、今後も地道に実践を積み上げられることを期待している。

今後、土岐市に育つ子どもたちの豊かな心をはぐくみ、未来を拓く力をはぐくむために、「ふるさと」を学びの土台として位置付け、「地域（自然・歴史・伝統・文化・産業）」と「人」と「くらし」そして「学び舎としての学校」をリンクさせた教育をデザインしていくことに期待したい。

新しく改定された、小学校社会科副教材「私たちの土岐市」を土台にした故郷に働きかける体験活動や、「はつらつ人材バンク」を活用した地域の方から学ぶ学習、芸術鑑賞、講演会など、ダイナミックで心揺さぶる活動を通して故郷に生きる人の叡智にふれ、自らの生き方を考える学習となっていくことを期待している。

自由で大胆な創造性をもってたくましく生きようとする「織部のこころ」を育てる貴市の教育の次のステージが楽しみである。

③ 「教育環境の整備・充実」について

近年各地で頻発している異常な天候による災害は、子どもたちはもちろん多くの市民の安全な生活を脅かすものである。「生きる力」をはぐくむための教育環境として重要な役

割を果たしている学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、災害発生時には地域住民の避難場所としての役割も果たすなど、地域コミュニティの拠点となる場所である。地域の拠点としての安全性の確保はもちろん、子どもたちが生き生きと学習や生活を行うことのできる豊かな施設環境を確保し、教育内容・方法の多様化へ対応するための施設機能を備えることが必要であり、「教育環境の整備・充実」は行政として極めて重要な課題である。

貴市では、幼児の教育環境の充実に力を入れており、全ての公立幼稚園での3・4歳児の受け入れを実現するとともに、認定こども園の整備を市全体で段階的に進めていることを高く評価したい。平成29年度には「のうなん保育園」が幼保連携型認定こども園「濃南こども園」に移行し、令和元年度には下石町の3園を統合する形で「西部こども園」が開園した。さらに、泉こども園整備事業など、耐震性の低い施設、公立幼稚園の無い地区を優先して幼保一体型施設（認定こども園）の整備が着々と進められている。待機児童解消に向けての市民のニーズと施設の老朽化改善対策を同時に解決し、教育環境の充実に図ってきた取組は大いに評価できる。

また、学校内外の安全確保のために、学校・地域・警察・「子ども110番の家」が一体となった体制づくりを行うとともに、危険箇所についての県・市・警察署との合同点検を実施して対応策を明確化していることを評価したい。さらに、点検結果を踏まえて対応策の改善を図り、市のホームページに詳細なハザードマップを掲載するなど広報活動にも努め、子どもたちの安全な生活を守るための継続的な取組がなされていることも大いに評価できる。今後も学校・PTA・地域が協力してできることを積極的に進めていきたい。

安全・安心な施設環境の構築では、小中学校施設の計画的な耐震化工事が完了し、トイレの洋式化やプールの改修を進めると同時に、校舎の老朽化による大規模改修についても計画的に進めていることは評価できる。また近年の気象状況を踏まえ、令和元年度に小中学校普通教室のエアコン設置が完了し、子どもの健康安全を最優先で実行していることは高く評価できる。

教育情報化の推進に対応した教育環境の整備・充実は、新学習指導要領が目指す「主体的・協働的な学びを通じて、一人一人の個性や能力を發揮できる新しい学びの創造」や、「ICTの活用により子どもの興味・関心を高め、子どもたちが分かりやすい授業の実現」は、不可避かつ喫緊の課題である。子どもたちを取り巻くネットワーク環境は日を追って変化し続けている。タブレットPCをはじめとするICT機器の活用、プログラミング教育やデジタル教科書の導入、情報モラル教育の必要性、どれをとっても遅れを取ることはできない。貴市においては、中学校のPCの更新や小学校へのタブレットPCの配備など、時代に即した情報教育設備の整備に配慮されており、令和元年度には各小学校10台のタブレットパソコンが配備された。教育は未来への先行投資である。貴市が教育振興基本計画に掲げ

ている『織部の地で、未来を築く人づくり』に向かって、教育環境の整備・充実に引き続き努められるようお願いしている。

④ 「教職員の資質・指導力の向上」について

近年の教職員の大量退職、大量採用により教職員の世代交代が進む中、子どもたちに質の高い教育を提供し、様々に起こりうる教育課題にも適切に対応していくには、教職員の資質や実践的な指導力の維持・向上が不可欠である。さらに、小学校における外国語教育の教科化、道徳教育の充実、特別な支援を必要とする子どもへの対応、ICT 機器の活用、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等に対応できる力を身につけることも求められている。

貴市においては、「経験年数や職務に応じた研修、教育の今日的課題に対応する研修の充実」「教科の専門性と授業力の向上」、さらには「児童生徒の内面の理解を深め、学級経営力の向上を図る研修の充実」「広報活動の充実」を基本施策として掲げ、教職員の資質・指導力の向上を図るために様々な事業が展開されてきた。

これまで実施されてきた若い教員の指導力を高める「初任者研修」や「2年目研修」の充実、「各種主任研修会」における研修内容の充実、教育研究会への適切な指導者の派遣等は、経験年数や職務に応じた質の高い研修として大いに評価できる。今後も、教員全体の授業力や学級経営の指導力のレベルアップを目指すために、特に若い教員の「経年研修」の在り方について工夫改善を図り、経験に応じた実践的指導力が着実に高められるよう継続されることを期待したい。

学力向上推進委員会においては、推進委員が率先して授業実践を行ったり、広報誌に実践紹介をしたりしながら教員の授業力の向上に努めている。学力向上に向けての具体的な取組を市内で共通理解したうえで、各校の課題を意識した取組を今後さらに期待したい。

また、小学校プログラミング教育を充実させていくために、泉小学校をパイロット校として授業実践を行ったり、駄知中学校の「特別の教科 道徳」の指定発表に関わり職員研修を繰り返し行ったりするなど、実践を通して学習指導の充実が図られている。今後も教科の専門性と授業力の向上に資するよう具体的な取組を期待したい。

また貴市では、「児童生徒の内面の理解を深め、学級経営力の向上を図る研修の充実」について、hyper-QU アンケートを活用して生徒指導・学級経営の充実を図っている。各校に講師を派遣し、検査結果の分析及び研修会を行い、学級経営の在り方や学級運営の方法についても見直しが図られている。これらの取組を継続することによって、分析方法を理解して学級経営に生かす教員が増加し、そのことが安定した生徒指導の展開に繋がっていることは大いに評価できる。

広報紙「教育とき」には、市内で開催された研修会や学力向上推進委員会からの詳細な

報告、小中連携教育の取組等が毎号掲載されている。様々な情報の発信とその共有は、市内の各学校の日々の教育活動の充実、教職員の資質・向上につながるものであり、貴市の大きな財産となっていることは間違いない。大いに評価できることであり、今後の継続を強く望みたい。

2 教育コミュニティの確立と生涯にわたる学習・文化・スポーツの推進

① 「子育て支援体制の充実」について

少子化傾向が続き、子育てをめぐる環境が厳しさを増しつつある中で、子育て家庭からの多様なニーズが高まりを見せており、地域ぐるみでの子育て支援体制の充実は必要不可欠である。

貴市の「夢・絆プラン」後期計画においては、「子育て支援体制の充実」を重点施策の一つに掲げ、その推進に当たり「家庭教育を学ぶ機会の充実」、「PTA活動への支援体制の充実及び指導者の資質の向上」、「子育てを支援する地域社会の形成」、「放課後教室の推進と充実」の4つの柱を設け、様々な問題に対応すべく、意図的、継続的に施策の展開を図ってきている。今後も子育て支援体制の充実に期待したい。

また、家庭教育を学ぶ機会の充実に向けて、貴市では子どもの発達の段階に応じて家庭での子育ての充実を図るための様々な事業を展開し、子育て家庭のニーズに応えるよう努めている。3歳までの子どもたちへの接し方のアドバイス情報を提供する「乳幼児学級てくてく」、小学生の保護者対象の「子育て講座」、幼稚園、小・中学校の保護者による「家庭教育学級」、企業で働く人を対象にした「職場で学ぶ家庭教育理解講座」など、幅広く実践されていることを高く評価してきた。父親を主たる対象とした「職場で学ぶ家庭教育理解講座」は受け入れ先事業者の確保が課題となっているが、父親をターゲットとした規格を大切にす姿勢は今後とも大切にしていきたい。

家庭の絆を深める場の提供としての『ホリデーがくえん「親子で楽しむ木工教室」や「GINO CON」』については、内容の更新や各小学校との連携に努めたい。今後も各講座・教室が市民のニーズに一層応えられる充実した内容になっていくと同時に、積極的な情報発信を続けていくことを期待したい。

PTA活動への支援や会員の学びの充実に向けては、これまでの各年度のテーマに沿った研究大会や研修会での講演、家族でのコミュニケーション、情報モラルをめぐる問題といった今日的な課題をテーマにした研修や講演を行うなど、市民啓発に努めていることは評価してきた。市PTA連合会の活動自体の必要性や単位PTAの役員等の選出にかかわる課題等も出されているので、連合会の存在意義や活動内容等を会員にわかりやすく伝え、子どもたちのための活動であることを理解してもらえよう働きかけの方法や内容につ

いて検討されること、さらには会員の負担軽減を図るためのスリム化の在り方を検討されることを期待したい。

子育てを支援する地域社会の形成に向けては、その柱として「青少年の健全育成の推進」を掲げ、青少年育成市民会議や子ども会連合会など青少年の健全育成をめざす諸活動の支援を意図的、計画的に進め、大人や子どものリーダーの養成とともに健全育成の土壌づくりを地道に行っている点を高く評価してきた。中でも、様々な機会をとらえ、「土岐市あいさつデー」や「青少年の非行・被害防止全国強調月間啓発活動」の展開を学校、家庭、地域が一体となって実践していることは重要であり、地域文化として根付くよう期待したい。さらに地域ぐるみでの子育て支援の土壌ができるように、行政任せでなく、市民が進んで子育て支援に参画できるよう、ボランティアや各種研修会への参加を促す啓発を行っていくことを期待したい。

放課後教室の推進と充実については、授業終了後の子どもの学習の場として市内全小学校に教室が設置されており、異年齢交流や地域の指導員・支援員とのふれあい、チャレンジデーと称する特別教室など、種々の体験学習・活動を工夫して実践を積み上げ、参加者も着実に増加しており、評価される。特に、夏季休業中には市内の高校生20名が臨時指導員として子どもの活動支援をする取組などが実施されており、成果をあげている。この取組を充実させ、青少年の社会参加をさらに促し、地域ぐるみの子育て支援へと発展させたい。今後も、参加する子どもの数の増加や発達障がいのある子どもの参加増にも対応できるように、余裕教室の利用による子ども一人当たりのスペースの確保や臨時スタッフの増員による支援体制の充実が図られるよう期待したい。夏休み期間中の臨時指導員に、本学学生も参加し、お役に立てるようであれば幸いである。

②「地域づくり型生涯学習の充実」について

少子高齢化の進行、家族集団や地域社会における人と人との直接的なコミュニケーションの希薄化など、家庭や地域社会の人間形成力・教育力の低下が問題視されている。このような状況を打破するためにも、人と人とのつながり合うコミュニティを構築し、相互の信頼感に裏付けられた人間関係の「絆」を蓄えた地域社会の形成こそ大切にすべきことである。貴市が「夢・絆プラン」でめざす姿として掲げている、人との絆の中で育ち合う「ひたむきな社会人」の育成こそ、今求められていることである。個々人が習得している知識、技術、経験を積極的に役立て、社会参加・参画していけるような様々な活動を、それぞれの地域の実態に応じて創り出し、人々の社会的生活の充実を図るとともに地域への帰属感・所属意識の向上をめざしていく「地域づくり型生涯学習」の充実は、今日的な重要課題であると考え。貴市においては、「地域づくり型生涯学習の充実」を教育振興の重点の一つに位置付け、その推進に当たり「公民館等を活用した拠点づくり」、「公民館を拠

点とした地域の教育力、絆づくり」及び「図書館を活用した生涯学習の充実」を柱に掲げ、それらの課題に対応されており、今後の地域づくりへの確実な効果が期待できるので継続をしていただきたい。

その拠点となる公民館が、互いのネットワークの構築や指導者の育成を進めるために、主事会や館長会を窓口とした情報交換会や研修会を定期的で開催したり、生涯学習指導者バンクの登録者による「おためし講座」を実施したりするなど、人材の育成や資質向上に資する取組を積み上げ、公民館活動の充実に努めていることを評価したい。また、市民のニーズに対応した公民館講座を設け、市民大学講座の充実に努めるとともに、冊子「土岐市の生涯学習」や「広報とき」などで広報活動を進めていることも評価したい。特に、高齢者大学（はなの木大学）の充実を図り、高齢者の学びと交流に深まりが見られたことは、高齢者社会が問題とされている昨今、大変意義深いことである。

さらに、地域の絆づくりのために、公民館まつりや夏まつりをはじめ、住民相互の絆を深める行事など、8地区9公民館がそれぞれの伝統と創意工夫を大切にしながら活動を展開していることも高く評価したい。特に、「土岐津町いきいきボランティアの会」が土岐津中学校有志の生徒たちとともに、町民文化祭の企画の一つとして「ハロウィンパーティー」を開催するなどの取組を行っていることは素晴らしい取り組みの一つであると考え。地域に貢献するアウトリーチ活動の充実や中学生の参画は、中核となる中央公民館の役割の明確化や指導性の発揮、市町を挙げてのボランティア活動の推進へ向けて、実践的なアプローチとなっている。これら活動の拠点となる公民館は、活動が魅力的であることはもちろんだが、何よりも利用者の安全・安心が最優先される。今後も、市民が安心して公民館活動に従事できるよう、施設面をはじめ、内容面での充実を目指して取り組んでいただきたい。

図書館を利用した生涯学習の充実については、館内の絵本書架の更新、郷土史料の整理・充実など、環境の整備と利便性の向上に努めるとともに、講習会、各種イベント等を通じた読書の啓発、図書館の利用促進などが継続的に進められている。地道な取組ながら、幼児から大人までの幅広い年齢層の市民にとって、読書に親しむ環境づくりとして大変効果的であると評価したい。今後は、図書館の施設面での充実はもとより、図書館のネットワーク化や司書配置のさらなる充実を図るとともに、読書の啓発、図書館の利用促進、ボランティアの支援・育成などもあわせ、市民にとって、より身近で使いやすい図書館運営に努められることを願いたい。

③ 「文化芸術活動の推進」について

文化芸術活動は、人々に感動や生きる喜びをもたらして人生を豊かにするものであると同時に、社会全体を活性化する上で大きな力となるものであり、その果たす役割は極めて重要である。貴市がその推進を教育振興の重点施策の一つに掲げ、市民が身近なところで

文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができる環境の整備や伝統文化の保存・継承、文化財の保護・活用を進めるために種々の事業を展開されてきたことは大変素晴らしい。

文化芸術に親しむための環境づくりでは、市文化振興事業団と連携して質の高い多様な文化芸術の提供を積極的に行い、令和元年度も幅広い年齢層それぞれに相応しい様々なジャンルの事業を実施している。名のあるアーティストや芸術家や団体を招き、市民がより質の高い文化芸術に触れる機会を設けたり、文化団体連盟祭、音楽祭、文芸祭、美術展等を開催し、市民の文化芸術活動の発表の機会を積極的に設けたりしていることは大変素晴らしい。加えて、少年少女合唱団等、青少年の文化芸術活動への支援を推進するほか、市内の小中学校への計画的なアウトリーチ公演やワークショップなどの市民参加型事業を展開するなど、文化芸術活動の振興に力を注いでいることも高く評価したい。さらに、利用者の安全性・快適性を確保するために文化プラザをはじめ施設の改修が進められており、今後も継続して取り組んでいただきたい。

貴市には伝統文化の代表である美濃焼がある。織部の里や美濃陶磁歴史館を中心に、小中学生をも含む幅広い年齢層を対象に講演会や講座等を開催するなど、その歴史等への関心を高める事業を展開していることも大変素晴らしいことである。地域の美濃焼まつりなどとの連携も深めながら取り組んでいかれることを望みたい。さらに、伝統文化の一つである中馬馬子唄、流鏝馬行事、打囃子の保存会への支援を進められている。また、埋蔵文化財保護として妻木平遺跡などの調査整備を進めたほか、文化財保護法届出件数も増加している。これらの地道でありながら大変重要な活動においても継続して取り組まれない。こうした地域の伝統文化の継承・振興や郷土資料・埋蔵文化財の保存・収集・整理・活用等は、子どもたちはじめ市民のアイデンティティ醸成につながるものである。今後さらに、郷土の歴史や文化を体感できる取組をより工夫するなど、地域住民と協働して地域文化の継承と振興を図っていくことを期待したい。また、次代を担う子ども達が、本物の文化芸術や伝統文化に直接触れることや、地域の文化・伝統に関わる創造活動に積極的に参加することなどを通して、より多くの感動体験を得て、感受性豊かな人間に成長するよう願っている。

令和元年度末より新型コロナウイルス感染が拡大し、文化芸術利用者の安全性・快適性を確保するための術の分野は特に大きな負の影響を受けている。さまざまな講演会やコンサート、美濃焼を広める祭りやイベントなどが中止に追い込まれたりした。しかしながら、十分な感染防止対策を施しながら文化施設の開館を確保したり、動画配信などの工夫を重ねて情報発信したりされている努力に敬意を表したい。

④ 「スポーツの推進」について

スポーツは、豊かで活力に満ちた明るい社会を形成するものであり、一人一人の心身の

健全な発達に必要なものである。貴市が掲げるスポーツの振興施策「市民がスポーツに親しめる体制、環境づくりの推進」については、その取組の努力が、令和元年度も各種協会主催の様々なスポーツ教室やスポーツ大会などに成果として表れてきている。

市体育協会等との連携を継続して競技スポーツの強化・普及を図ったことにより、スポーツに対する市民の意識が高まり、市民総合体育大会(春季・夏季・冬季大会)への市民の参加が多数あり、東濃総合体育大会や県民スポーツ大会で入賞するなど、実績となって実を結んだことは高く評価したい。

貴市では、スポーツ推進委員研修会の開催や、継続的な県・東海四県研究大会への参加などを通して、指導者のレベルアップが図られてきている。令和元年度のイベント・教室をスポーツ推進委員が企画・運営し、そこで企画力の向上が見られたことは、確実な成果の一つといえよう。

「誰もが、どこでも参加できる軽スポーツ・レクリエーションの普及を図る」というコンセプトをもとに取り組まれた親子バランスボールや親子スポンジテニスの教室及び大会などは、市民がスポーツ・レクリエーションを身近に感じている証であり、紅葉の時期に開催された森林ウォーキングも参加者が増えている。

今後も、参加者のさらなる増加や満足感の向上を求めて、反省やアンケートを分析・考察し、市民ニーズに合った形への進化を期待したい。

令和元年度末よりの新型コロナウイルス感染拡大は、スポーツの分野にも大きな負の影響を及ぼしている。多くの市民や選手の参加が望ましいイベントや大会、交流会などが中止になったり、開催が難しくなってきたりしている。市民の安心安全を常に最優先にしながら、今後の取組を進めて頂ければと思う。

教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書
(令和元年度実績)

発行日／令和2年9月

編集発行／土岐市教育委員会 教育総務課

〒509-5192

岐阜県土岐市土岐津町土岐口2101番地

電話番号：0572-54-1111（代表）

E-mail：syomu@city.toki.lg.jp